

工 事 番 号	部 長	課 長	課長補佐	係 長	検 算 者	設 計 者		
設計年度	令和 2 年度		三原東処理分区污水管新設工事（2-1工区） 公共下水道事業 三原市中之町二丁目 <div style="text-align: right; border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 設 計 書 </div>					
施工月日	令和	年					月	日
施工方法	請 負							
工事期間								
工 事 概 要			起 工 理 由					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線延長（污水補助） L=213.2m 管体延長 管渠工（開削） φ 200 L=203.6m ・ 路線延長（污水単独） L=11.5m 管体延長 管渠工（開削） φ 200 L=9.5m 			<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 污水 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 単独 </div> </div> <div style="text-align: center;"> 污水 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 基幹 </div> </div> </div>					

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市中之町二丁目 公共下水道事業 三原東処理分区污水管新設工事(2-1 工区)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和元年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2014年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書(令和元年8月広島版)『第3編 1-1-10 検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第5節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 材料

第1節 公共柵蓋

公共柵に使用する蓋は、塩ビ製又は鋳鉄製(ともにデザイン入り)とする。

なお、車庫等輪荷重のかかる恐れのある箇所については、原則として、鋳鉄製蓋を使用するものとする。

第3章 施工条件

第1節 工 程

1 施工時期・時間の制限

時 期 全工事期間

時 間 8：30～17：00

2 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目 地下埋設物（水道管、ガス管などの埋設物あり）

調査時期 工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

移設時期 必要に応じて、別途協議するものとする。

提出書類 「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第2節 用 地

1 借 地

あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。

調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	別途協議による。

第4節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，3（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

第8節 工事支障物件

1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管
管理者	三原市水道部
位置	協議による
移設時期	協議による

第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

第10節 その他

1 工事中機資材の仮置き

場所	指定しない
期間	指定しない
保管方法	指定しない

第4章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和元年8月広島版）『第1編 1-1-30 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第5章 公共樹設置について

第1節 公共樹の設置について

本工事の平面図に記入されている公共樹の高さは、使用材料の高さを示している。これは、あくまでも設計時における標準高さであり、実際に設置する場合は、地権者等と協議し、その位置及び高さを決定するものとする。

第2節 公共樹等設置申請書

地権者等との協議により、公共樹の設置位置等が決定した場合、受注者が責任をもって「公共樹等設置申請書」を預かるものとする。

第6章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第7章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

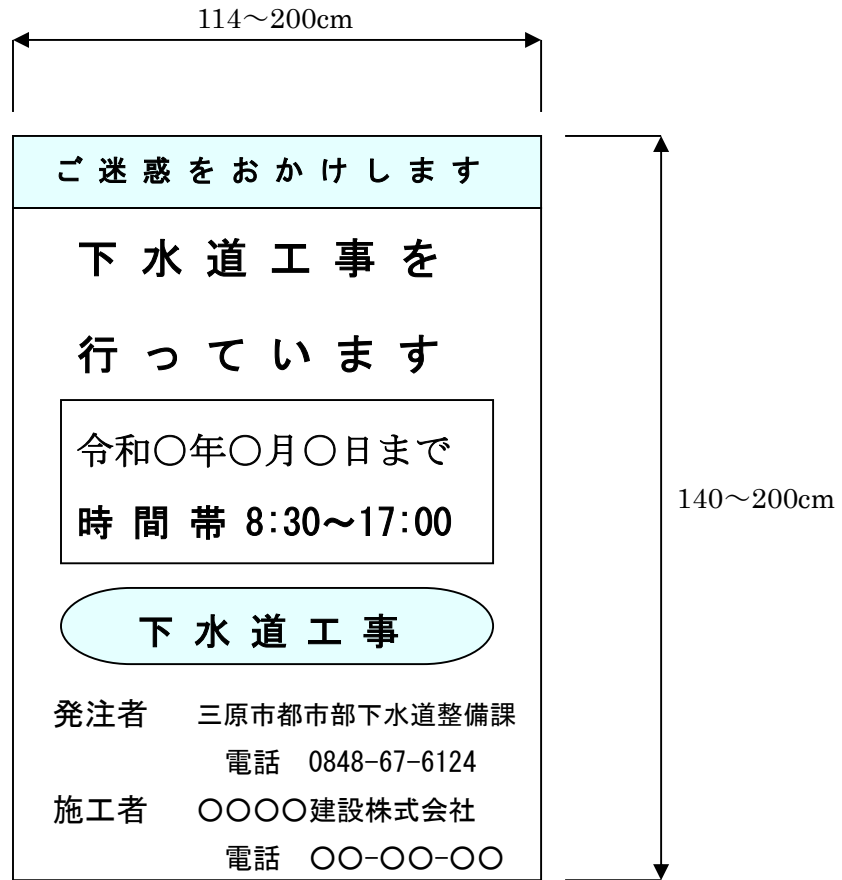
なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| (2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

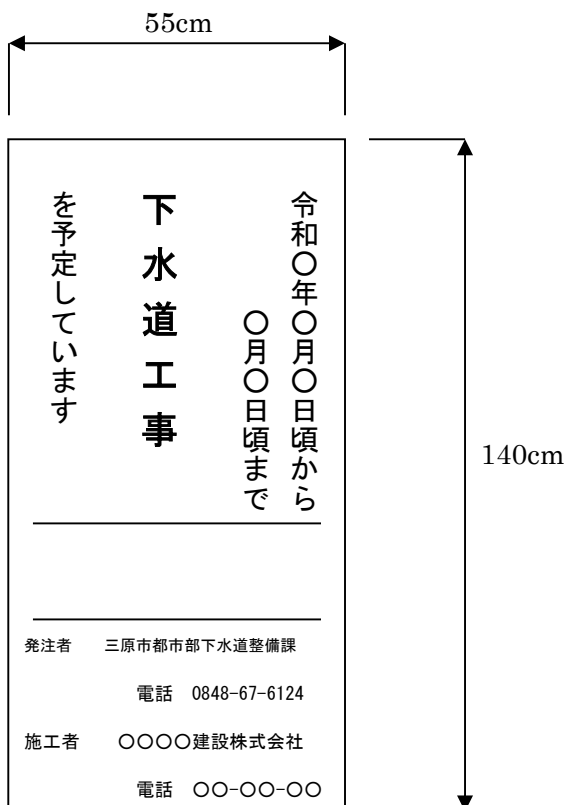
第8章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

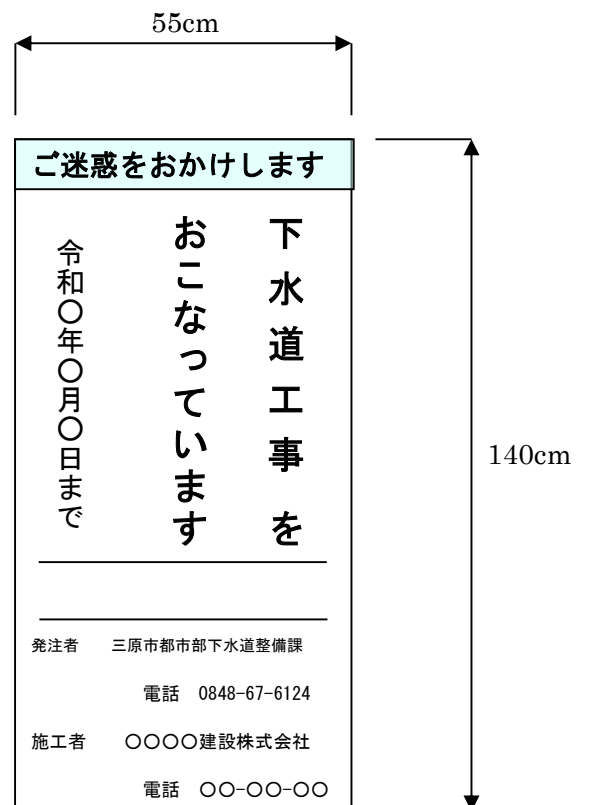
【工事標示板】



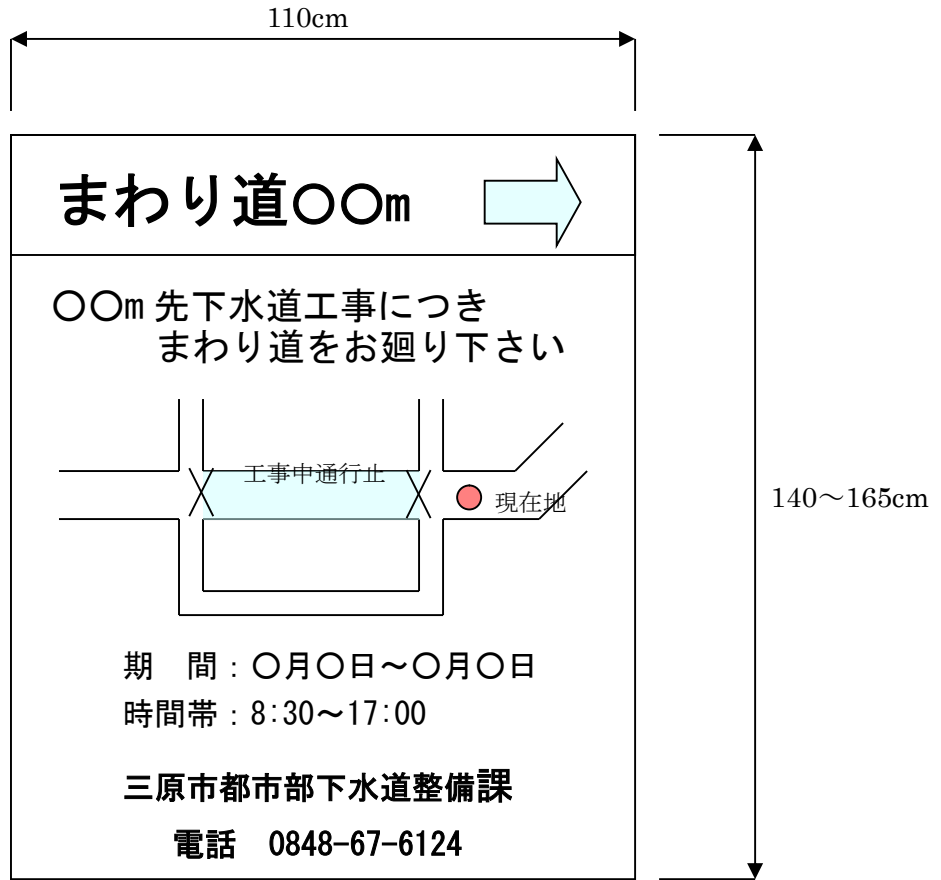
【工事情報看板】



【工事説明看板】



【まわり道案内表示板】



工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路施設(開削工法)	補助	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻	発生土	式	1	レベル4
管路埋戻	再生砂	式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【 200】	m	203.6	レベル4
継手類		式	1	レベル4
埋設標識テープ		m	203.6	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m	203.6	レベル4
管路土留工		式	1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式	1	レベル4
開削水替工		式	1	レベル3
開削水替		式	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
マンホール工		式	1	レベル2
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立1号マンホール		箇所	3	レベル4
内副管		箇所	1	レベル4
組立0号マンホール		箇所	6	レベル4
小型マンホール工		式	1	レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)		箇所	5	レベル4
取付管およびます工		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
管路埋戻	再生砂	式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
ます設置工		式	1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所	21	レベル4
取付管布設工		式	1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)		箇所	21	レベル4
付帯工	本管	式	1	レベル2

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	430	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2	935	レベル4
殻運搬処理		m3	43	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m2	732	レベル4
表層(車道・路肩部)		m2	732	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
下層路盤		m2	203	レベル4
上層路盤		m2	203	レベル4
表層		m2	203	レベル4
付帯工	取付管	式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	57	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2	22	レベル4
殻運搬処理		m3	0.7	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
下層路盤		m2	22	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
上層路盤		m2	22	レベル4
表層		m2	22	レベル4
管路施設(開削工法)	単独	式	1	レベル1
管きょ工(開削)		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻	発生土	式	1	レベル4
管路埋戻	再生砂	式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
管布設工		式	1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【 200】	m	9.5	レベル4
継手類		式	1	レベル4
埋設標識テープ		m	9.5	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m	9.5	レベル4
管路土留工		式	1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式	1	レベル4
マンホール工		式	1	レベル2

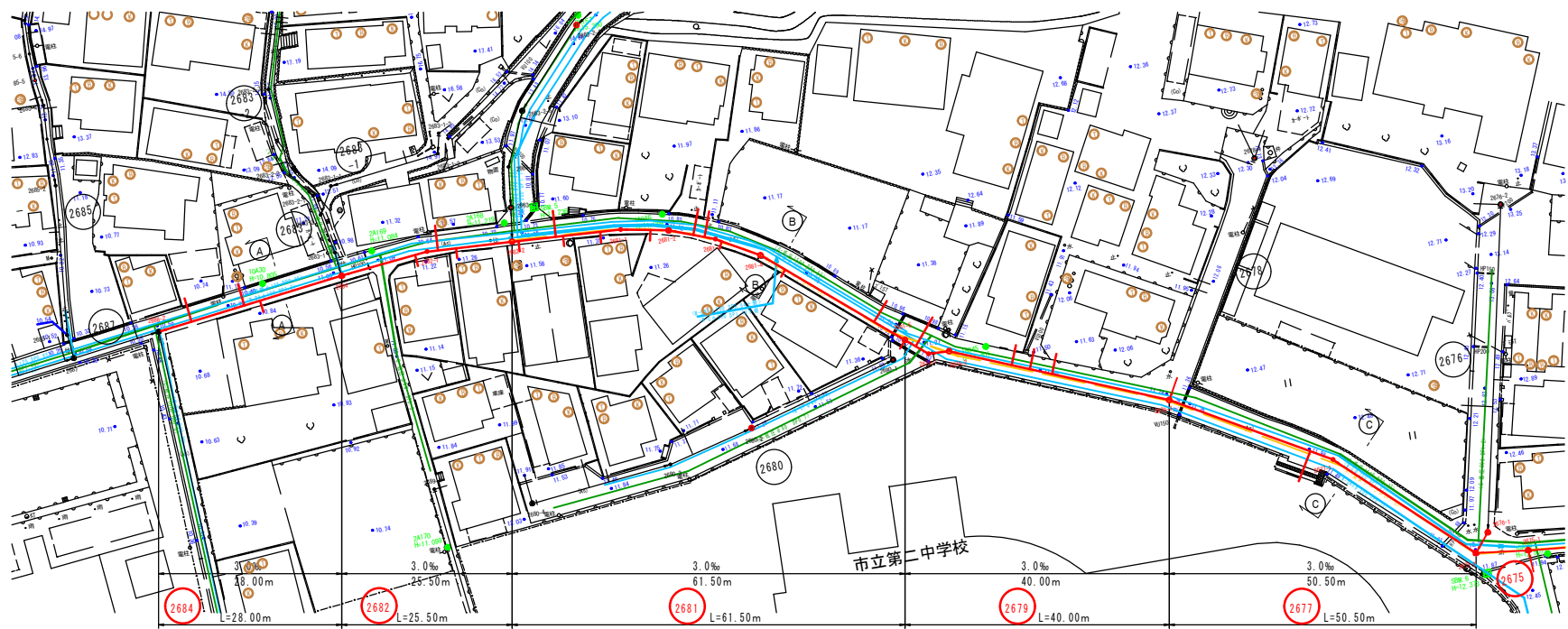
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立0号マンホール		箇所	1	レベル4
付帯工	本管	式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	23	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2	11	レベル4
殻運搬処理		m3	0.3	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
下層路盤		m2	11	レベル4
上層路盤		m2	11	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3

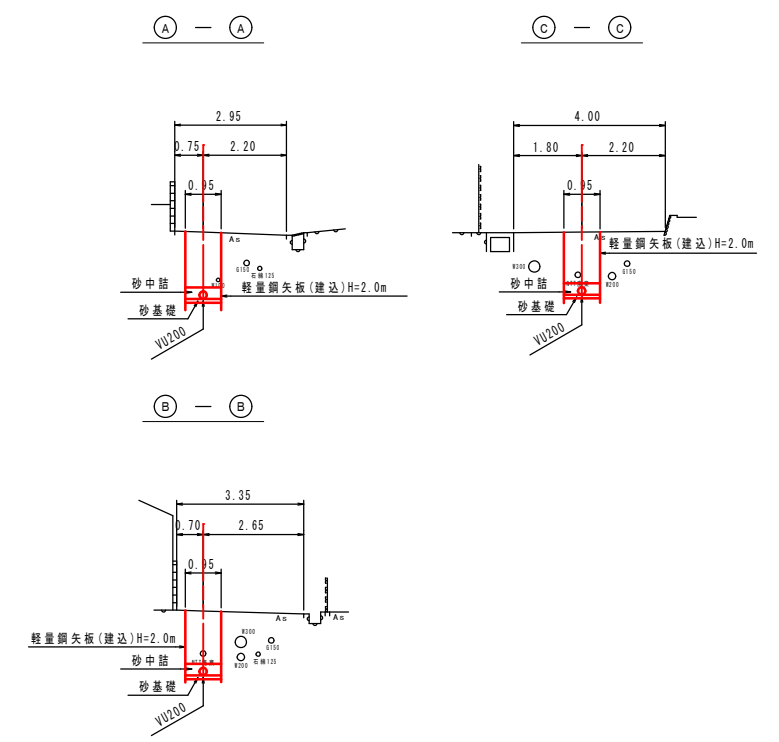
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仮設材運搬費		式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
管内調査費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				
** 契約保証費計 **				

平面図 S=1:500



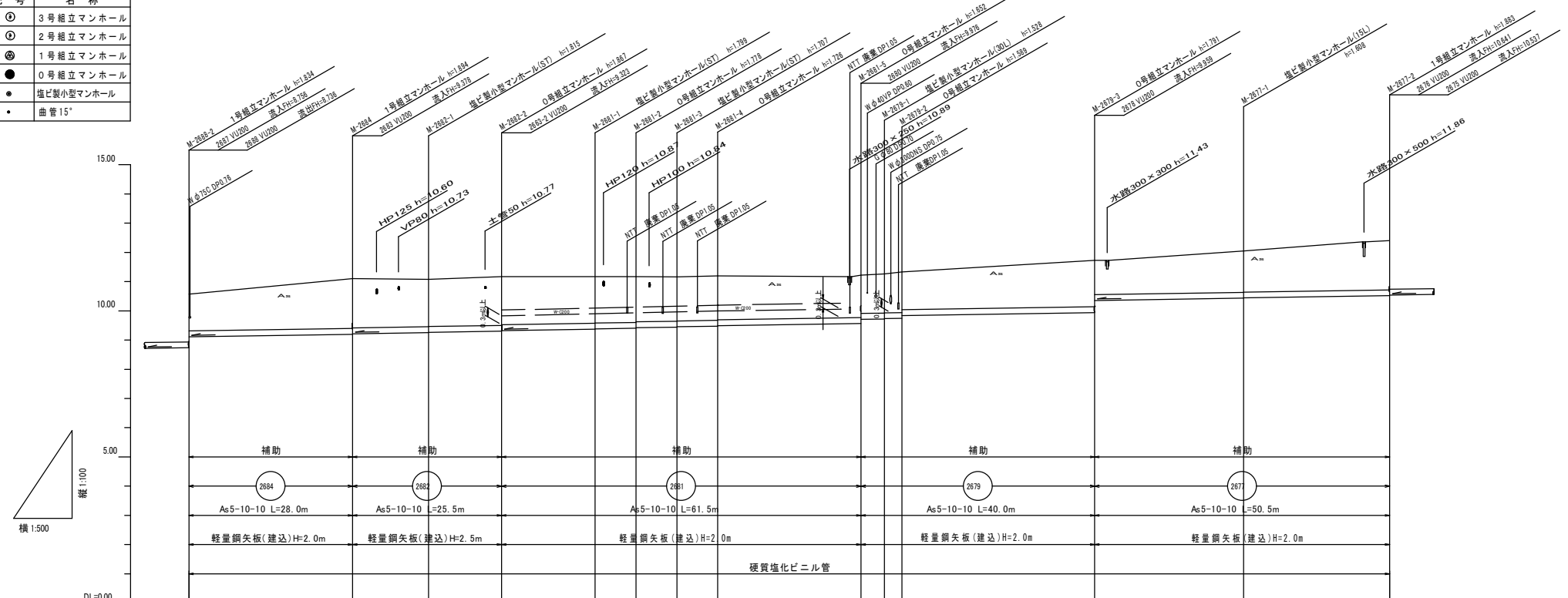
横断面図 S=1:100



縦断面図 縦S=1:100 横S=1:500

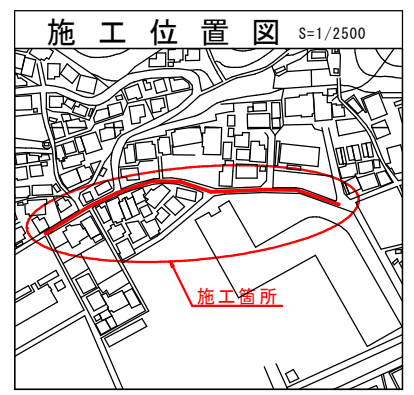
凡例

記号	名称
③	3号組立マンホール
②	2号組立マンホール
①	1号組立マンホール
○	0号組立マンホール
●	掘込型小型マンホール
•	曲管15°



管径	m		m		m		m		m		m		m		m		m	
勾配	%		%		%		%		%		%		%		%		%	
区間距離	m		m		m		m		m		m		m		m		m	
地盤高	m		m		m		m		m		m		m		m		m	
土被り	m		m		m		m		m		m		m		m		m	
管底高	m		m		m		m		m		m		m		m		m	
掘削深	m		m		m		m		m		m		m		m		m	
追加距離	m		m		m		m		m		m		m		m		m	
区間距離	m		m		m		m		m		m		m		m		m	

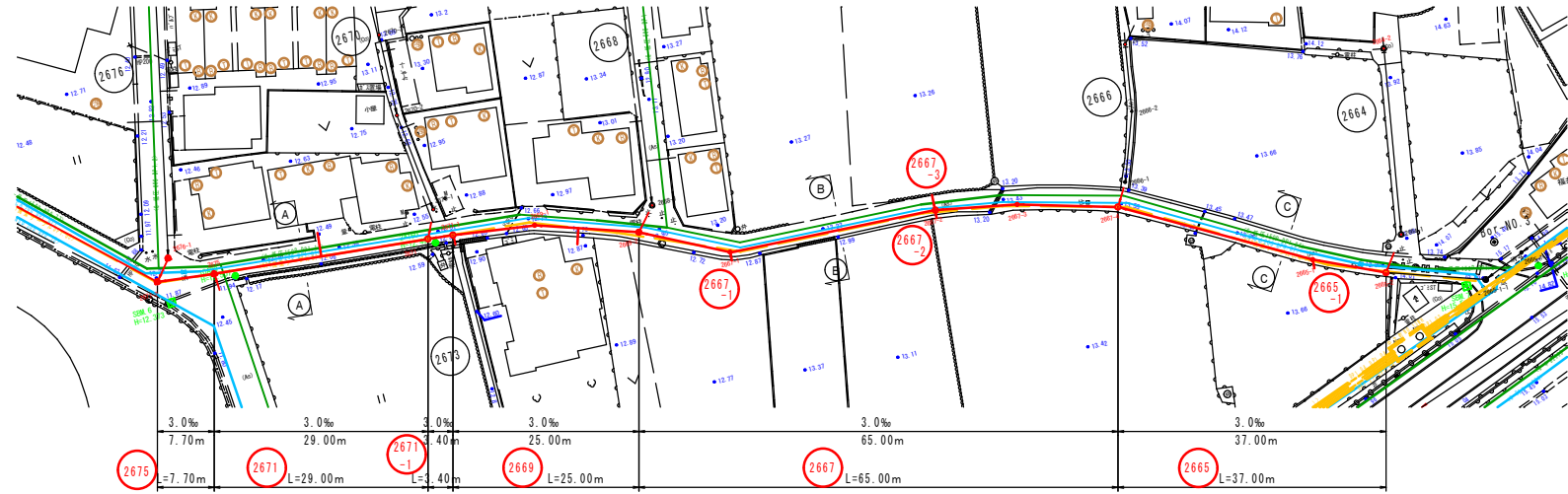
※マンホールの設計荷重は、T-14とする。



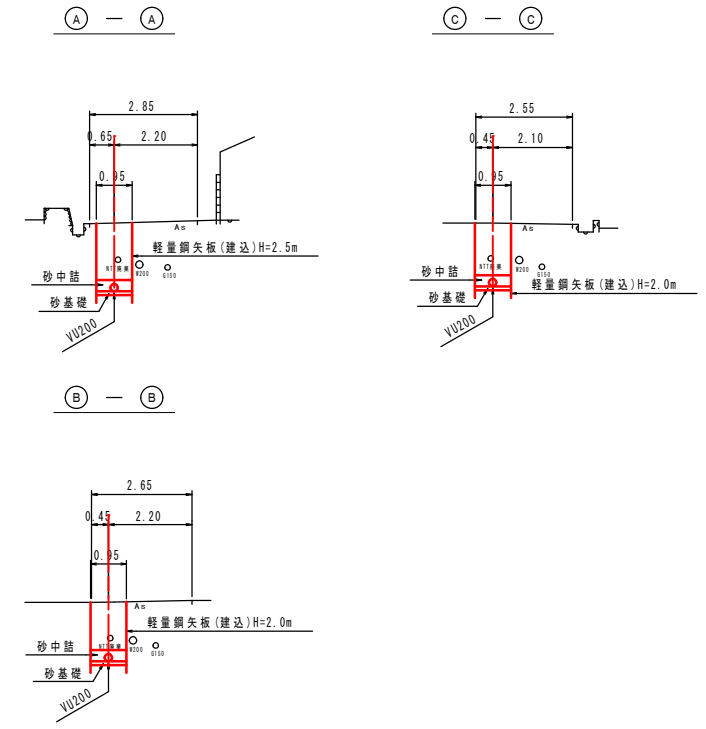
管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2677	N-2679-3-N-2677-2	VU200	50.50	開削 補助
2679	N-2681-5-N-2679-3	VU200	40.00	開削 補助
2681	N-2682-2-N-2681-5	VU200	61.50	開削 補助
2682	N-2684-N-2682-2	VU200	25.50	開削 補助
2684	N-2688-2-N-2684	VU200	28.00	開削 補助
計			205.50m	

令和2年度 公共下水道事業(汚水)			
工事名	三原東処理分区 汚水管新設工事(2-1工区)		
工事場所	三原市中之町二丁目		
図面番号	縮尺	図示	
平面図・縦横断面図(その17)			
三原市			

平面図 S=1:500



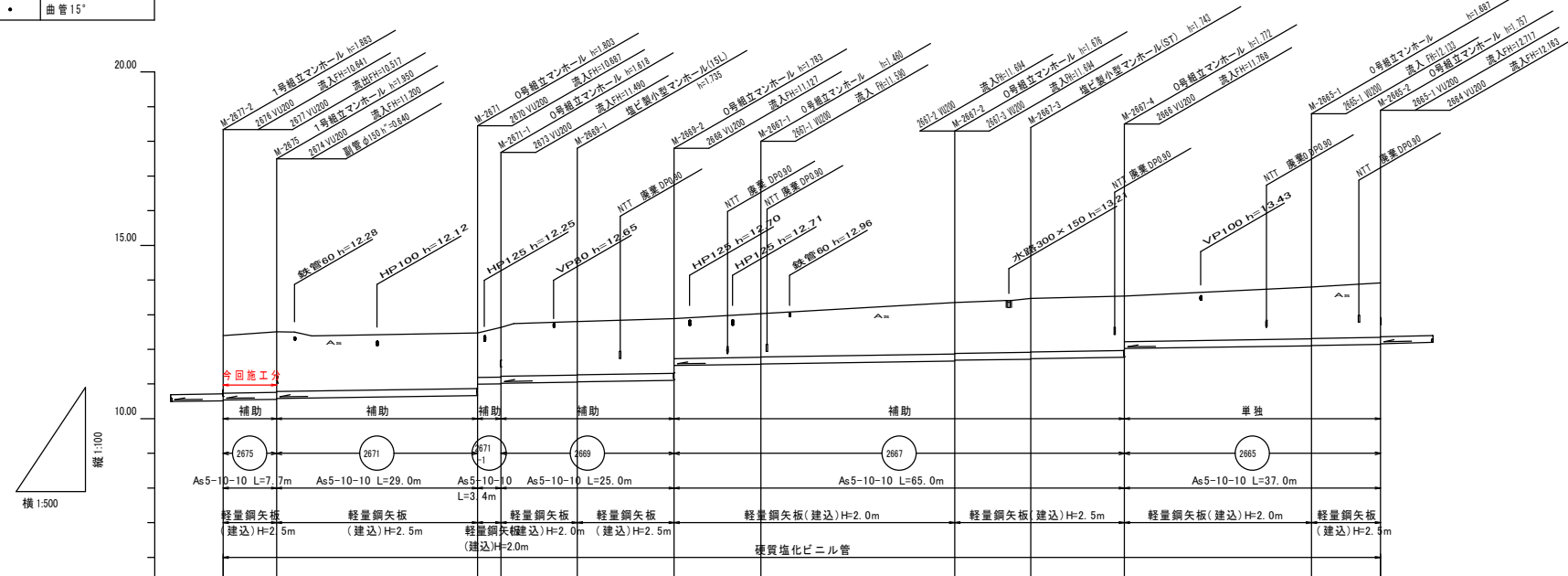
横断面図 S=1:100



縦断面図 縦S=1:100 横S=1:500

凡例

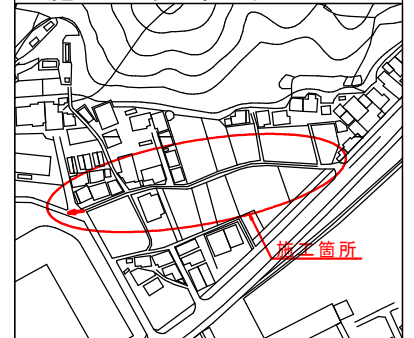
記号	名称
③	3号組立マンホール
②	2号組立マンホール
①	1号組立マンホール
○	0号組立マンホール
●	塩ビ製小型マンホール
•	曲管15°



管径	勾配	区間距離	地盤高	土被り	管底高	掘削深	追加距離	区間距離
VU200	3.0	7.70	12.40	1.86	10.537	1.86	0.00	0.00
VU200	3.0	29.00	12.51	1.75	10.580	2.05	7.70	7.70
VU200	3.0	3.40	12.47	1.80	10.667	1.67	-0.70	2.00
VU200	3.0	11.00	12.63	1.40	11.002	1.72	4.10	3.40
VU200	3.0	14.00	12.80	1.54	11.095	1.84	5.10	11.00
VU200	3.0	12.50	12.89	1.16	11.107	1.46	6.50	14.00
VU200	3.0	28.00	13.03	1.21	11.232	1.51	7.80	12.50
VU200	3.0	11.00	13.35	1.48	11.570	1.54	1.80	28.00
VU200	3.0	13.50	13.47	1.46	11.594	1.79	0.50	11.00
VU200	3.0	27.00	13.54	1.50	11.727	1.84	11.60	13.50
VU200	3.0	10.00	13.80	1.51	11.786	1.87	0.80	13.50
VU200	3.0	167.10	13.82	1.56	12.032	1.81	10.10	10.00
VU200	3.0		13.82	1.40	12.113	1.70	15.10	27.00
VU200	3.0		13.82	1.50	12.133	1.79	15.10	10.00
VU200	3.0		13.82	1.56	12.183	1.88	16.10	167.10

※ マンホール蓋の設計荷重は、T-14とする。

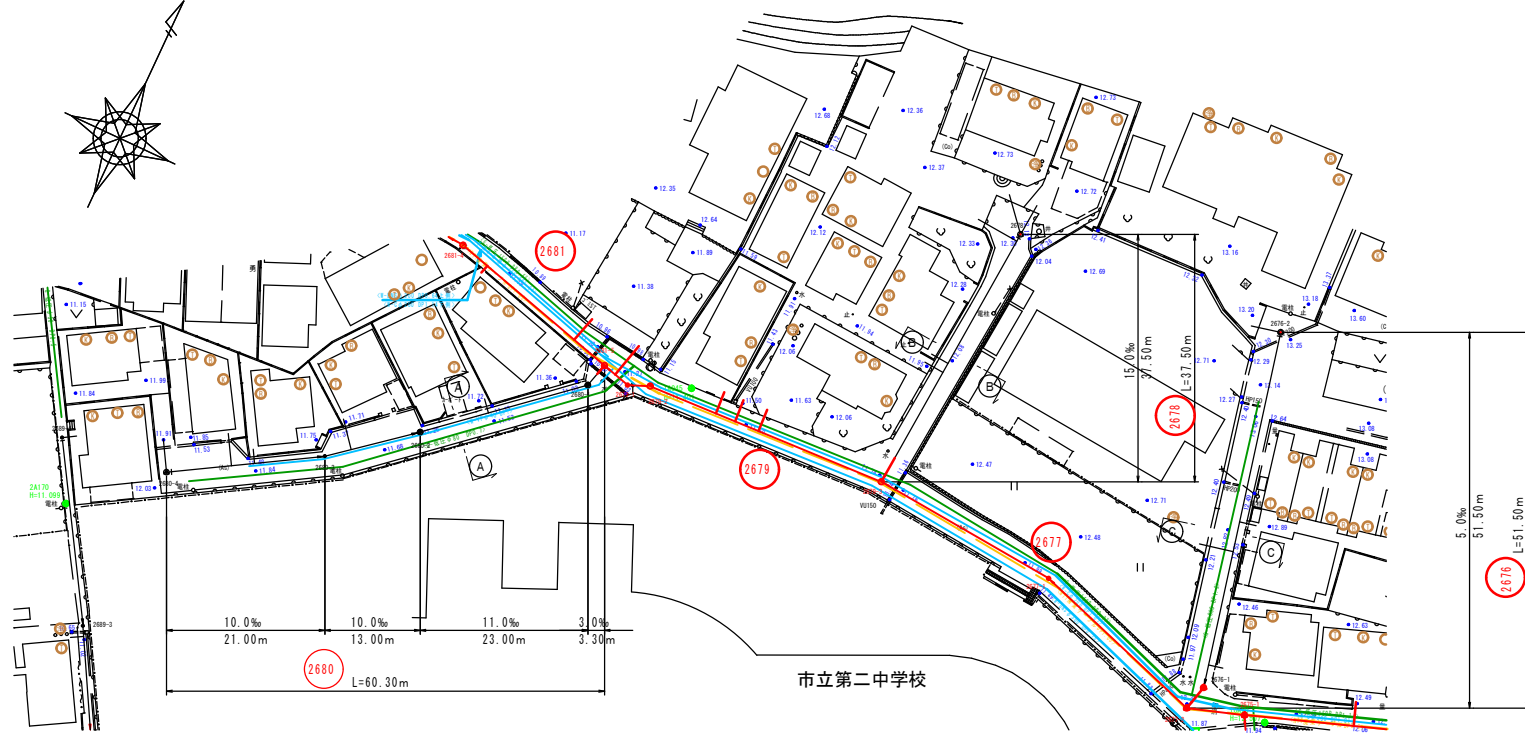
施工位置図 S=1/2500



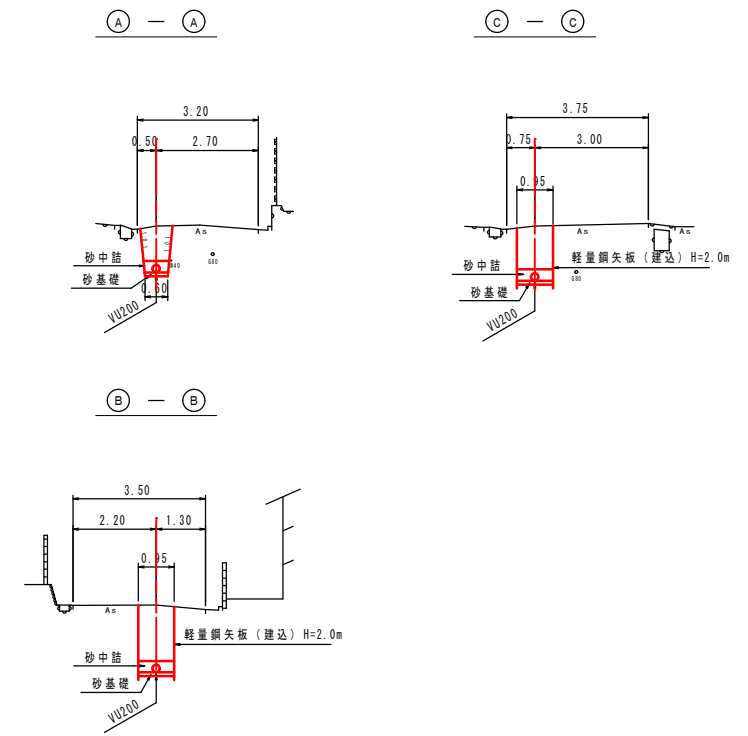
管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2665	M-2667-4~M-2665-2	VU200	37.00	開削 単独
2667	M-2669-2~M-2667-4	VU200	65.00	開削 補助
2669	M-2671-1~M-2669-2	VU200	25.00	開削 補助
2671	M-2675~M-2671	VU200	29.00	開削 補助
2671-1	M-2671~M-2671-1	VU200	3.40	開削 補助
2675	M-2677-2~M-2675	VU200	7.70	開削 補助
計			167.10m	

令和2年度 公共下水道事業(汚水)			
工事名	三原東処理分区 汚水管新設工事(2-1工区)		
工事場所	三原市中之町二丁目		
図面番号	縮尺	図示	
平面図・縦横断面図(その22)			
三原市			

平面図 S=1:500



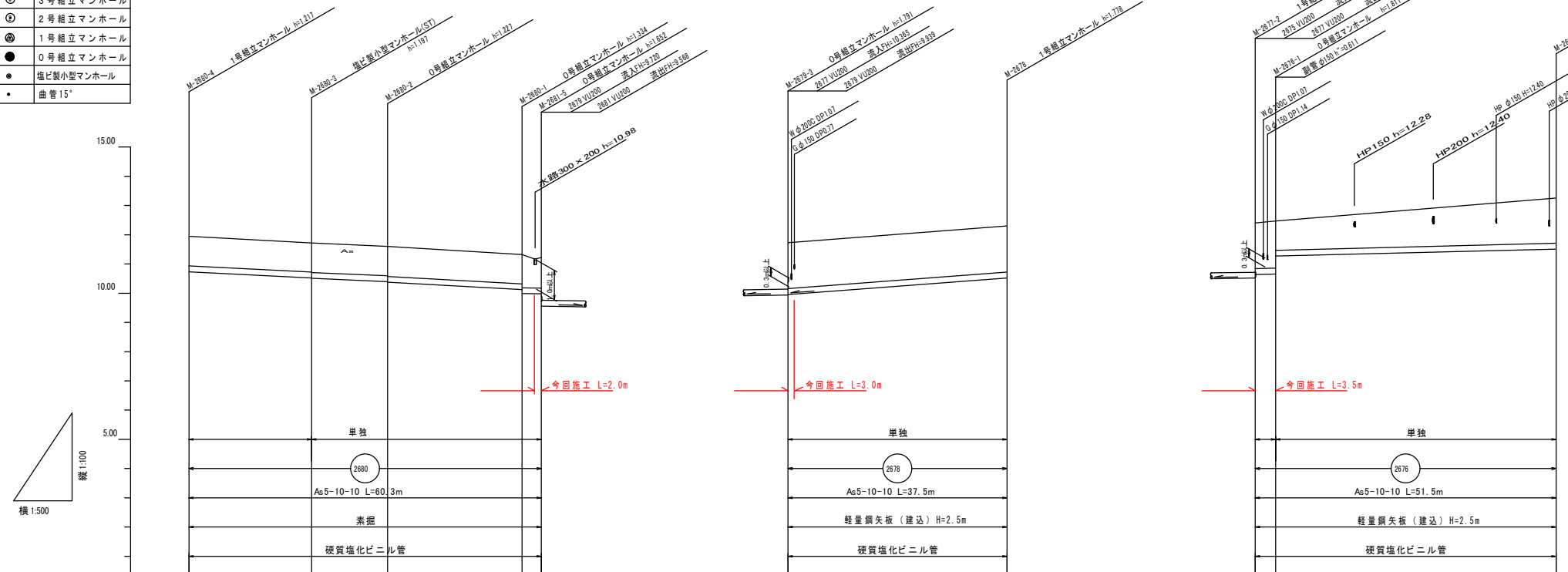
横断面図 S=1:100



縦断面図 縦S=1:100 横S=1:500

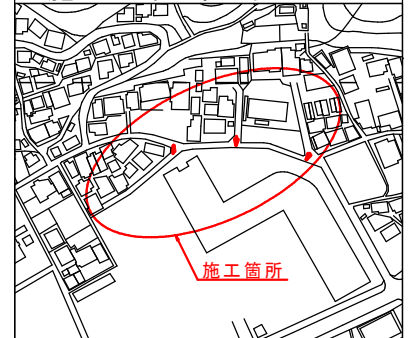
凡例

記号	名称
③	3号組立マンホール
②	2号組立マンホール
①	1号組立マンホール
○	0号組立マンホール
●	塩ビ製小型マンホール
•	曲管15°



管径	m	VU200				VU200				VU200				VU200							
勾配	%	10.0				11.0				3.0				15.0				5.0			
区間距離	m	21.00		13.00		23.00		3.30		37.50				48.00							
地盤高		11.95	11.72	11.60	11.22	11.22	11.73	12.20	12.28	12.40	12.47	12.40	12.47	12.28	12.28						
土被り		1.02	(1.01)	1.00	(1.01)	1.01	1.00	(1.02)	1.00	1.03	1.03	1.04	1.04	1.57	(1.56)	1.56	(1.56)	1.56	1.56	1.56	1.56
管底高		-0.730	-0.550	-0.380	-0.120	-0.120	-0.959	-0.532	-0.532	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441	-0.441
掘削深		1.32	(1.31)	1.30	(1.31)	1.31	1.33	(1.32)	1.30	1.43	1.43	1.34	1.34	1.87	(1.86)	1.86	(1.86)	1.86	1.86	1.86	1.86
追加距離		-6.30	-3.30	-2.30	3.30	3.30	0.00	3.30	3.30	0.00	0.00	0.00	0.00	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30
区間距離		0.00	21.00	34.00	47.00	50.30	87.80	125.30	173.80	211.30	248.80	296.80	344.80	392.80	440.80	488.80	536.80	584.80	632.80	680.80	728.80

施工位置図 S=1/2500

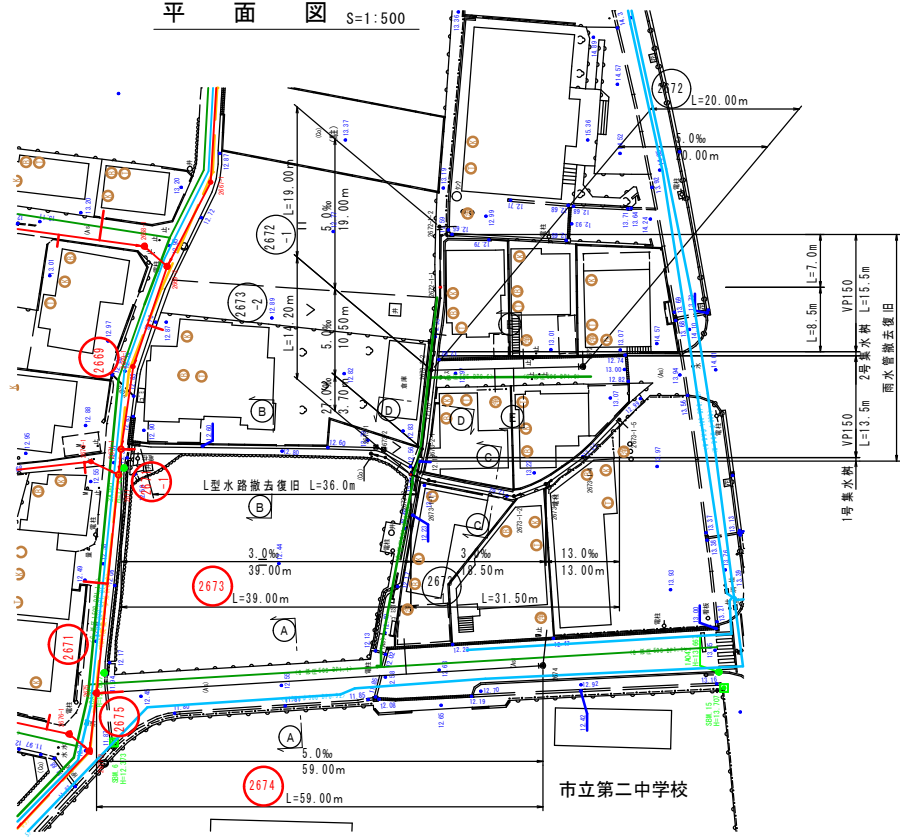
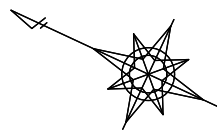


管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2676	M-2677-2~M-2676-1	VU200	3.50	開削単独
2676	M-2676-1~M-2676-2	VU200	48.00	開削単独
2678	M-2679-3~M-2678	VU200	37.50	開削単独
2680	M-2681-5~M-2680-3	VU200	39.30	開削単独
2680	M-2680-3~M-2680-4	VU200	21.00	開削単独
計			149.30m	

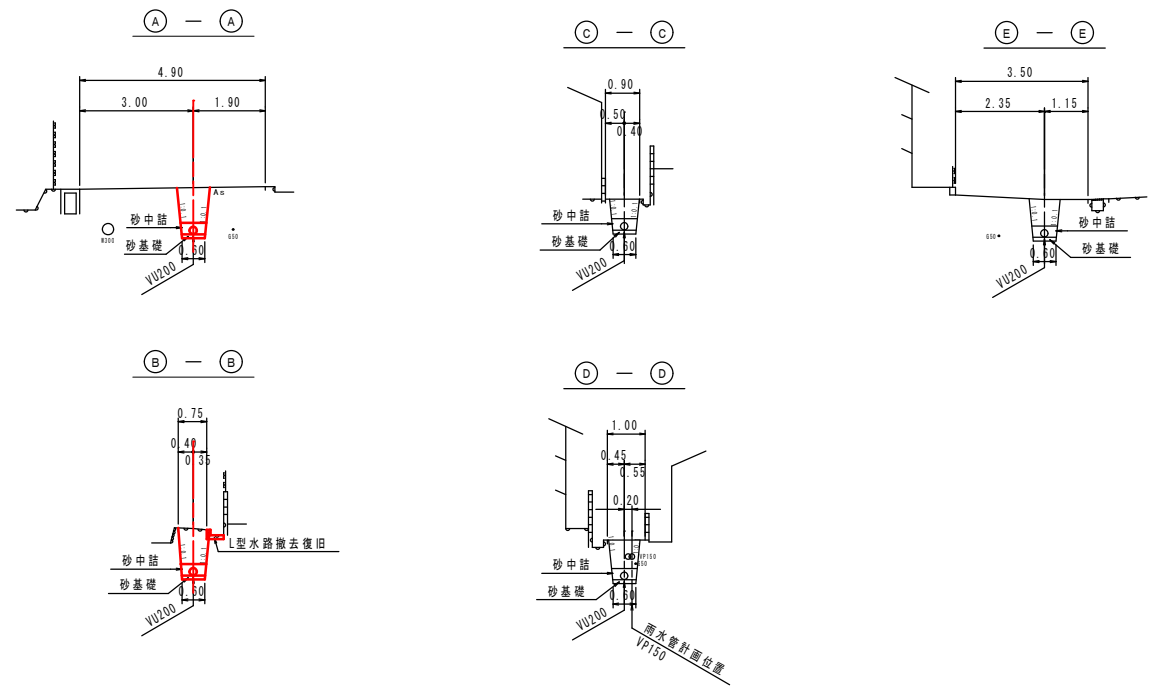
※ マンホール蓋の設計荷重は、T-14とする。

令和2年度 公共下水道事業(汚水)			
工事名	三原東処理分区 汚水管新設工事(2-1工区)		
工事場所	三原市中之町二丁目		
図面番号	縮尺	図示	
平面図・縦横断面図(その18)			
三原市			

平面図 S=1:500



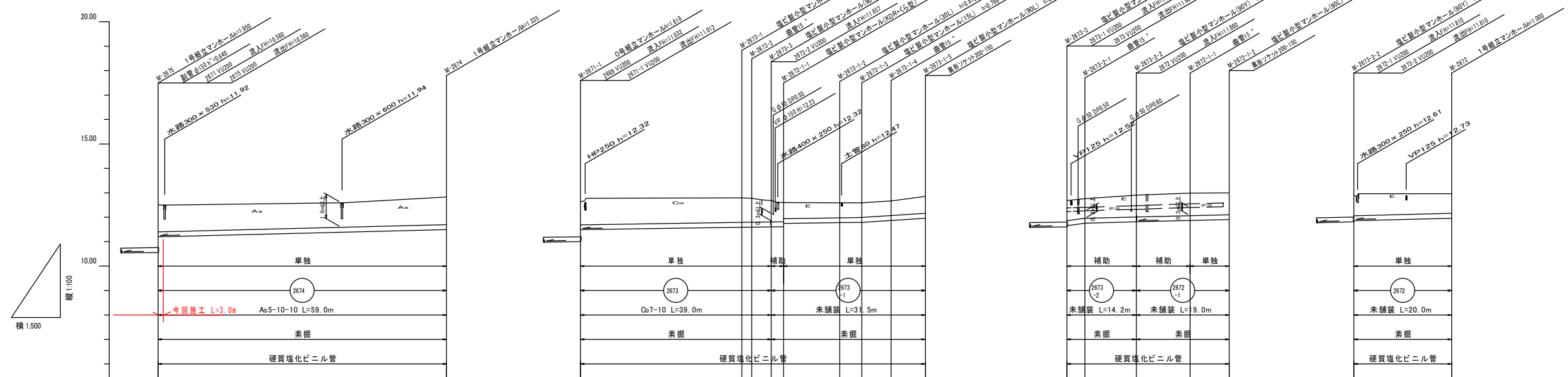
横断図 S=1:100



縦断図 縦S=1:100 横S=1:500

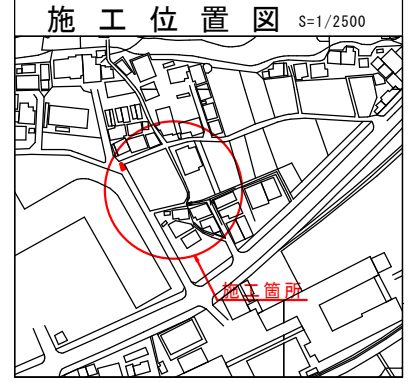
凡例

記号	名称
①	3号組立マンホール
②	2号組立マンホール
③	1号組立マンホール
●	0号組立マンホール
●	楕円型マンホール
●	曲管15°



管径	勾配	区間距離	地盤高	土被り	管底高	掘削深	追加距離	区間距離
VU200	5.0	59.00	12.51	1.11	-11.200	1.41	0.00	0.00
VU200	3.0	33.00	12.63	0.94	-11.490	1.24	0.00	0.00
VU200	3.0	2.00	12.79	1.00	-11.588	1.30	3.300	3.300
VU200	3.0	4.00	12.78	0.90	-11.595	1.23	2.00	2.00
VU200	3.0	250	12.68	0.87	-11.667	1.17	4.00	4.00
VU200	13.0	11.50	12.60	0.79	-11.815	1.09	4.00	4.00
VU200	13.0	4.50	12.59	0.86	-11.740	0.96	2.50	2.50
VU200	13.0	6.00	12.59	0.81	-11.778	0.91	1.50	1.50
VU200	13.0	7.00	12.59	0.90	-11.792	0.90	4.50	4.50
VU200	13.0	7.00	12.59	0.80	-11.870	0.80	6.00	6.00
VU200	13.0	7.00	12.59	0.85	-11.891	0.85	6.00	6.00
VU200	3.0	9.70	12.68	0.82	-11.657	1.12	0.00	0.00
VU200	5.0	10.50	12.78	0.86	-11.757	1.10	3.70	3.70
VU200	5.0	11.00	12.60	0.86	-11.740	1.10	0.00	0.00
VU200	5.0	8.00	12.60	0.88	-11.830	1.19	0.50	0.50
VU200	5.0	8.00	12.59	0.81	-11.885	1.23	1.100	1.100
VU200	5.0	8.00	12.59	0.80	-11.895	1.22	0.00	0.00
VU200	5.0	20.00	12.60	0.84	-11.890	1.14	0.00	0.00
VU200	5.0	20.00	12.60	0.82	-11.900	1.12	0.00	0.00
VU200	5.0	20.00	12.60	0.80	-11.990	1.10	0.00	0.00
計			182.70m					

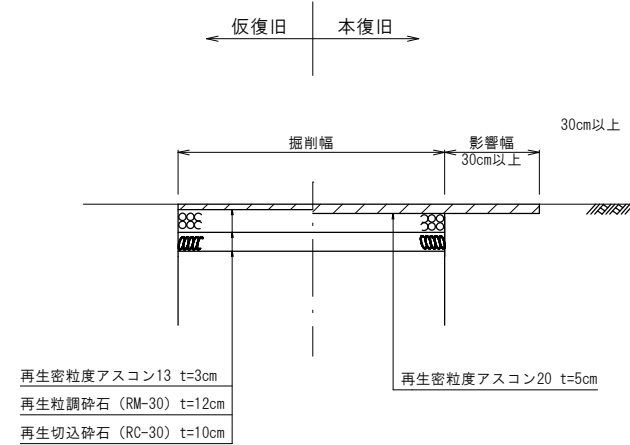
※ マンホール蓋の設計荷重は、T-14とする。



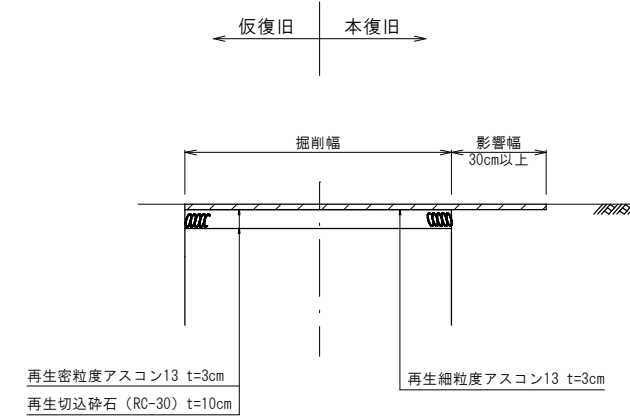
管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法
2672	M-2673-2-2~M-2672	VU200	20.00	開削単独
2672-1	M-2673-2-2~M-2672-1-1	VU200	11.00	開削単独
2672-1	M-2672-1-1~M-2672-1-2	VU200	8.00	開削単独
2673	M-2671-1~M-2673-3	VU200	39.00	開削単独
2673-1	M-2673-3~M-2673-1-1	VU200	2.50	開削単独
2673-1	M-2673-1-1~M-2673-1-5	VU200	29.00	開削単独
2673-2	M-2673-3~M-2673-2-2	VU200	14.20	開削単独
2674	M-2675~M-2674	VU200	59.00	開削単独
計			182.70m	

令和2年度 公共下水道事業(汚水)			
工事名	三原東処理分区 污水管新設工事(2-1工区)		
工事場所	三原市中之町二丁目		
図面番号	縮尺	図示	
平面図・縦横断面図(その23)			
三原市			

市道（一般道）As車道
(As5-10-10)



市道 歩道
(As3-10)



令和2年度 公共下水道事業（污水）			
工事名	三原東処理分区污水管新設工事(2-1工区)		
工事場所	三原市中之町二丁目		
図面番号	縮尺	図示	
付帯工構造図			
三原市			

参 考 资 料

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-02.07.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事 (2) 05 市街地(DID補正)(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法) 補助	1	式			Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	92	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0001 表
機械掘削工(バックホウ)	260	m3			SG1D0001002 00 単第0 -0003 表
管路埋戻 発生土	1	式			Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	58	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	150	m3			単第0 -0007 表
管路埋戻 再生砂					Y1101010102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	14	m3			単第0 -0008 表
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	34	m3			単第0 -0009 表
発生土処理					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	25	m3			単第0 -0010 表
発生土運搬工(10t積級,機械積込み)					SG1E0003001 00
	64	m3			単第0 -0012 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
建設発生土受入費 再資源化施設					F0001 00
	89	m3			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			
硬質塩化ビニル管 【 200】					Y1101010203レベル4
	203.6	m			
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm					SG1D0006001 00
	203.6	m			単第0 -0014 表
継手類					Y1101010212レベル4
	1	式			
マンホール用可とう継手 V U 200					F0002 00
	17	組			
本管自在継手 V U 200					F0003 00
	5	個			
埋設標識テープ					Y1101010216レベル4
	203.6	m			
埋設標識シート 150×50 2倍					F0004 00
	203.6	m			
管基礎工					Y11010103 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎 【再生砂】	203.6	m			Y1101010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	19	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0015 表
再生砂	24	m3			T0249 00
管路土留工	1	式			Y11010105 レベル3
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1101010503レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	118	m			SG1D0033001 00 単第0 -0016 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	118	m			SG1D0033002 00 単第0 -0017 表
土留支保工(軽量金属支保工)	118	m			SG1D0033008 00 単第0 -0018 表
土留支保工(軽量金属支保工)	118	m			SG1D0033008 00 単第0 -0019 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板質料 H=2.0m	1	式			F0019 00
支保材質料 H=2.0m	1	式			F0005 00
軽量鋼矢板建込工(両側分)	95.2	m			SG1D0033001 00 単第0 -0020 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	95.2	m			SG1D0033002 00 単第0 -0021 表
土留支保工(軽量金属支保工)	95.2	m			SG1D0033008 00 単第0 -0018 表
土留支保工(軽量金属支保工)	95.2	m			SG1D0033008 00 単第0 -0019 表
鋼矢板質料 H=2.5m	1	式			F0021 00
支保材質料 H=2.5m	1	式			F0006 00
開削水替工	1	式			Y11010109 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
開削水替					Y1101010901 レベル4
	1	式			
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	14	日			単第0 -0022 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	1	現場			単第0 -0024 表
マンホール工					Y110102 レベル2
	1	式			
組立マンホール工					Y11010202 レベル3
	1	式			
組立1号マンホール					Y1101020202 レベル4
	3	箇所			
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下					SG1D0053002 00
	3	箇所			単第0 -0025 表
底部工(組立式)(組立1号マンホール)					SG1D0053001 00
	3	箇所			単第0 -0026 表
汚水用人孔鉄蓋(デザイン入・密閉ロック式) 600 T-14					F0007 00
	3	組			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
変形防止調整金具	3	箇所			F0008 00
コンクリート混和剤 無収縮材 セメント系プレミックスタイプ	28	kg			T2595 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	3	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	1	個			TH003102 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300	3	個			TH003064 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1500	3	個			TH003092 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	3	個			TH003096 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用,径200用	5	箇所			TH003130 00
内副管	1	箇所			Y1101020208レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
内副管取付工					SG1D0051002 00
	1	箇所			単第0 -0030 表
スリム型内副管(偏平タイプ)200-150 1号マンホール継手(固定金具付)					F0009 00
	1	個			
スリム型内副管(偏平タイプ) 縦管(2.00m)					F0010 00
	1	本			
スリム型内副管(偏平タイプ) エルボ					F0011 00
	1	個			
取付バンド 120~ 200 アンカーボルト付					F0012 00
	2	個			
組立0号マンホール					Y1101020201レベル4
	6	箇所			
組立0号マンホール 0号(内径750mm),楕円 深さ2m以下					SG1D0052002 00
	6	箇所			単第0 -0031 表
底部工(組立式)(組立0号マンホール)					SG1D0052001 00
	6	箇所			単第0 -0032 表
汚水用人孔鉄蓋(デザイン入・密閉ロック式) 600 T-14					F0007 00
	6	組			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
変形防止調整金具	6	箇所			F0008 00
コンクリート混和剤 無収縮材 セメント系プレミックスタイプ	97	kg			T2595 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	5	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	2	個			TH003102 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×300	3	個			TH003034 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450	3	個			TH003036 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1200	5	個			TH003056 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1500	1	個			TH003058 00
円形0号(内径750)I種 底版	6	個			TH003062 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径200用	9	個所			TH003130 00
小型マンホール工	1	式			Y11010203 レベル3
小型マンホール(塩化ビニル製)	5	箇所			Y1101020301 レベル4
小型マンホール工 (塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm~200mm	5	箇所			SG1D0057001 00 単第0 -0033 表
小口径鉄蓋(デザイン入・密閉口式) 300用 T-14	5	組			F0013 00
沈下防止盤(再生プラスチック) 300用 T-14	5	組			F0014 00
沈下防止盤(コンクリート) 300用 T-14	5	組			F0015 00
取付管およびます工	1	式			Y110104 レベル2
管路土工	1	式			Y11010401 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削					Y1101040101レベル4
	1	式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	36	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1101040102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	28	m3			単第0 -0005 表
管路埋戻 再生砂					Y1101010102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	6	m3			単第0 -0008 表
発生土処理					Y1101040103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	4	m3			単第0 -0010 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土受入費 再資源化施設	4	m3			F0001 00
ます設置工	1	式			Y11010402 レベル3
ます(塩化ビニル製)	21	箇所			Y1101040202レベル4
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm	21	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0034 表
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)	10	箇所			SG1D0088005 00 単第0 -0035 表
鋳鉄製防護蓋 200 T-8	10	組			F0016 00
取付管布設工	1	式			Y11010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	21	箇所			Y1101040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	9	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0036 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	11	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0037 表
付帯工 本管					Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	1	式			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	430	m			SPK19040309 00 単第0 -0038 表
舗装版破碎(小規模)	430	m			Y1101060103 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	935	m2			SPK19040018 00 単第0 -0039 表
舗装版破碎積込(小規模土工)	732	m2			SPK19040018 00 単第0 -0039 表
舗装版破碎積込(小規模土工)	203	m2			SPK19040018 00 単第0 -0039 表
殻運搬処理	43	m3			Y1101060105 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要,舗装版 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	37	m3			SPK19040148 00 単第0 -0040 表
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要,舗装版 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	6	m3			SPK19040148 00 単第0 -0040 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費	100	t			F0017 00
舗装復旧工	1	式			Y11010603 レベル3
不陸整正	732	m2			Y1101060301 レベル4
不陸整正 補足材料無し	732	m2			SPK19040233 00 単第0 -0041 表
表層(車道・路肩部)	732	m2			Y1101060308 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	732	m2			SPK19040243 00 単第0 -0042 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装仮復旧工					Y11010604 レベル3
	1	式			
下層路盤					Y1101060403レベル4
	203	m2			
下層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30					SPK19040235 00
	203	m2			単第0 -0043 表
上層路盤					Y1101060405レベル4
	203	m2			
上層路盤 全仕上り厚120mm 1層施工 RM-30					SPK19040237 00
	203	m2			単第0 -0044 表
表層					Y1101060409レベル4
	203	m2			
表層 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm					SPK19040246 00
	203	m2			単第0 -0045 表
付帯工 取付管					Y110106 レベル2
	1	式			
舗装撤去工					Y11010601 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断					Y1101060101レベル4
	57	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK19040309 00
	57	m			単第0 -0038 表
舗装版破碎(小規模)					Y1101060103レベル4
	22	m2			
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK19040018 00
	22	m2			単第0 -0039 表
殻運搬処理					Y1101060105レベル4
	0.7	m3			
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要,舗装版 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)					SPK19040148 00
	0.7	m3			単第0 -0040 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費					F0017 00
	2	t			
舗装仮復旧工					Y11010604 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤	22	m2			Y1101060403 レベル4
下層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	22	m2			SPK19040235 00 単第0 -0043 表
上層路盤	22	m2			Y1101060405 レベル4
上層路盤 全仕上り厚120mm 1層施工 RM-30	22	m2			SPK19040237 00 単第0 -0044 表
表層	22	m2			Y1101060409 レベル4
表層 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	22	m2			SPK19040246 00 単第0 -0045 表
管路施設(開削工法) 単独	1	式			Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削					Y1101010101レベル4
	1	式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	16	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻 発生土					Y1101010102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	10	m3			単第0 -0005 表
管路埋戻 再生砂					Y1101010102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	2	m3			単第0 -0008 表
発生土処理					Y1101010103レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級,2t積級,機械積込み)					SG1E0003002 00
	5	m3			単第0 -0010 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生土受入費 再資源化施設					F0001 00
管布設工	5	m3			Y11010102 レベル3
硬質塩化ビニル管 【 200】	1	式			Y1101010203 レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	9.5	m			SG1D0006001 00
継手類	9.5	m			単第0 -0014 表 Y1101010212 レベル4
マンホール用可とう継手 V U 200	1	式			F0002 00
埋設標識テープ	5	組			Y1101010216 レベル4
埋設標識シート 150×50 2倍	9.5	m			F0004 00
管基礎工	9.5	m			Y11010103 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砂基礎 【再生砂】	9.5	m			Y1101010301レベル4
砂基礎工(機械施工)	0.8	m3			SG1D0019002 00 単第0 -0015 表
再生砂	1	m3			T0249 00
管路土留工	1	式			Y11010105 レベル3
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1101010503レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	6.5	m			SG1D0033001 00 単第0 -0020 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	6.5	m			SG1D0033002 00 単第0 -0021 表
土留支保工(軽量金属支保工)	6.5	m			SG1D0033008 00 単第0 -0018 表
土留支保工(軽量金属支保工)	6.5	m			SG1D0033008 00 単第0 -0019 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼矢板賃料 H=2.5m	1	式			F0020 00
支保材賃料 H=2.5m	1	式			F0018 00
マンホール工	1	式			Y110102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y11010202 レベル3
組立0号マンホール	1	箇所			Y1101020201 レベル4
組立0号マンホール 0号(内径750mm), 楕円 深さ2m以下	1	箇所			SG1D0052002 00 単第0 -0031 表
底部工(組立式)(組立0号マンホール)	1	箇所			SG1D0052001 00 単第0 -0032 表
汚水用人孔鉄蓋(デザイン入・密閉ロック式) 600 T-14	1	組			F0007 00
変形防止調整金具	1	箇所			F0008 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート混和剤 無収縮材 セメント系プレミックスタイプ	10	kg			T2595 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	2	個			TH003100 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450	1	個			TH003036 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1200	1	個			TH003056 00
円形0号(内径750)I種 底版	1	個			TH003062 00
付帯工 本管	1	式			Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	23	m			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	23	m			SPK19040309 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎(小規模)	11	m2			Y1101060103レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	11	m2			SPK19040018 00 単第0 -0039 表
殻運搬処理	0.3	m3			Y1101060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間有り) 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	0.3	m3			SPK19040148 00 単第0 -0040 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費	0.7	t			F0017 00
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3
下層路盤	11	m2			Y1101060403レベル4
下層路盤 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	11	m2			SPK19040235 00 単第0 -0043 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤	11	m2			Y1101060405 レベル4
上層路盤 全仕上り厚120mm 1層施工 RM-30	11	m2			SPK19040237 00 単第0 -0044 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B 補助	117	人			R0369 00
交通誘導警備員B 単独	5	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費					YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費	1	式			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2.6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 補助 単第0 -0046 表
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 2.6km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単独 単第0 -0049 表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管内調査費					YZZ06001001レベル4
	1	式			
テレビカメラ管内調査費 洗浄・写真録画・報告書作成含む					V8001 00
	203.6	m			単第0 -0052 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....		率補正率.....			
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0005 表

頁0 -0033

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

タンバ締固め

SPK19040020

単第0 -0006 表

機械構成比: 1.45% 労務構成比: 97.12% 材料構成比: 1.43% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,340.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンバ(ランマ) 質量60~80kg	1.45%		タンバ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.43%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 全ての費用					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0007 表

頁0 -0035

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0004 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.45m3 C=6 材料別途			B=2		土留めを伴う掘削の場合

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0008 表

頁0 -0036

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0002 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3 E=126.3 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)			C=2 再生砂		

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0009 表

頁0 -0037

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0004 表
タンバ締固め	100	m3			単第0-0006 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.45m3 C=2 再生砂			B=2 E=126.3		土留めを伴う掘削の場合 土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)

施工単価表

ダンプトラック運転
011 オンロード ディーゼル

SM2203010

単第0 -0013 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	62.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 10t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=5 10t積級 D=62 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0016 表

頁0 -0044

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	11.6	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0017 表

頁0 -0045

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 BH山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0020 表

頁0 -0048

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	7.2	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	12.5	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0021 表

頁0 -0049

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
機-01_バックホウ運転 122_標準型 クレーン 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.5	時間			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 BH山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0042001

単第0 -0022 表

頁0 -0050

1 日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.11	人			
普通作業員	0.05	人			
工事用水中ポンプ損料	1	日			単第0-0023 表
発動発電機 ガソリンエンジン駆動 定格容量3kVA	1	日			
諸雑費	18	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 作業時排水 C=1 ポンプ1台			B=2 D=1	発動発電機 普通型(潜水ポンプ) 口径50mm全揚程5m	

施工単価表

頁0 -0055

コンクリート

SPK19040150

単第0 -0027 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.78%

労務構成比:

37.76%

材料構成比:

57.46%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

26,831.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.51%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.76%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.46%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

モルタル練

SPK19040151

単第0 -0029 表

普通

混合比1:2

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 61.10%

材料構成比: 38.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

42,987.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	61.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	29.14%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.76%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 普通 全ての費用			B=2 混合比1:2		

施工単価表

底部工(組立式)(組立0号マンホール)

SG1D0052001

単第0 -0032 表

頁0 -0061

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシャー 40~0mm	0.168	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.120	m3			単第0-0027 表
モルタル上塗工(配合1:2)(マンホール用)	0.550	m2			単第0-0028 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=2 RC-40 D=0.2 碎石厚(m) F=0.12 インポートコンクリート工使用数量(m3)			C=0.7 碎石面積(m2) E=1 - G=1 無筋・鉄筋構造物		
H=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 L=2 一般養生 Q=2 モルタル上塗工			I=2 18-8-40BB P=1 - R=0.55 モルタル上塗工使用数量(m2)		
S=2 普通					

1 箇所 当り

施工単価表

舗装版切断

SPK19040309

単第0 -0038 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.42%

労務構成比:

53.37%

材料構成比: 40.21%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

547.25000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm	4.34%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.48%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	37.36%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK19040018

単第0 -0039 表

頁0 -0069

機械構成比: 24.57% 労務構成比: 67.61% 材料構成比: 7.82% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,467.20000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	24.57%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	67.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 全ての費用					

施工単価表

殻運搬

SPK19040148

単第0 -0040 表

舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要,舗装版

DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 48.90% 労務構成比: 36.46%

材料構成比: 14.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,560.10000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	48.90%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	36.46%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.64%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 全ての費用			B=4 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=22 運搬距離6.0km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0071

不陸整正
補足材料無し

SPK19040233

単第0 -0041 表

1

m2 当り

機械構成比: 26.79% 労務構成比: 66.41%

材料構成比: 6.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

107.82000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	13.21%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	10.24%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.34%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	41.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.91%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.80%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.55% 労務構成比: 9.26%

SPK19040243

1層当り平均仕上厚50mm

材料構成比: 89.19%

単第0 -0042 表

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1

m2 当り

1,559.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3~6.0m	1.00%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.16%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	1.93%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	1.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK19040243

単第0 -0042 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.55% 労務構成比:

9.26%

材料構成比: 89.19%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,559.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	81.51%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.15%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.45%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0075

下層路盤
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK19040235

単第0 -0043 表

機械構成比: 6.39% 労務構成比:

RC-30

69.63%

材料構成比: 23.98%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り
691.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.31%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.90%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.26%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.60%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30~0mm	22.04%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.89%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

下層路盤
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK19040235

単第0 -0043 表

RC-30
機械構成比: 6.39% 労務構成比: 69.63% 材料構成比: 23.98% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 691.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) 全ての費用			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0077

上層路盤
全仕上り厚120mm 1層施工

SPK19040237

単第0 -0044 表

機械構成比: 5.85% 労務構成比:

RM-30

63.78%

材料構成比: 30.37%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り
754.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.03%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.65%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	26.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.53%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	28.59%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

上層路盤
全仕上り厚120mm 1層施工

SPK19040237

単第0 -0044 表

機械構成比: 5.85% 労務構成比: 63.78% 材料構成比: 30.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 754.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=120 全仕上り厚(mm) D=1 全ての費用			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0079

表層

SPK19040246

単第0 -0045 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.54% 労務構成比:

48.56%

材料構成比: 50.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,938.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.37%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.09%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	16.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.99%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	45.02%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00023 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.75%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層

SPK19040246

単第0 -0045 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.54% 労務構成比:

48.56%

材料構成比: 50.90%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,938.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.07%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 全ての費用			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

報告書作成

V8004

単第0 -0058 表

頁0 -0093

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
管理技師	1	人			
管路調査技師	1	人			
管路調査助手	1	人			
記録メディア	1	枚			
写真代 デジタルカメラ・タカラプリント サービス版	1	式			
諸雑費	10	%			#01
1mあたり					
*** 単位当たり ***	1	m			

塩ビ管管布設工集計表

(17)工区 補単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
管路土工	管路掘削 人力							m ³	
	管路埋戻(発生土) 人力							m ³	
	管路埋戻(砂) 人力							m ³	
	発生土処理 人力 2 t車							m ³	
	管路掘削 BH 0.13 m ³							m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.13 m ³							m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.13 m ³							m ³	
	発生土処理 BH 0.13 m ³ 2 t車							m ³	
	管路掘削 BH 0.28 m ³	91.9					91.9	m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.28 m ³	57.7					57.7	m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.28 m ³	13.5					13.5	m ³	
	発生土処理 BH 0.28 m ³ 4 t車	24.9					24.9	m ³	
	管路掘削 BH 0.45 m ³	262.7					262.7	m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.45 m ³	147.3					147.3	m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.45 m ³	34.4					34.4	m ³	
発生土処理 BH 0.45 m ³ 10 t車	63.7					63.7	m ³		
管基礎工	砂基礎	19.3					19.3	m ³	
	砂基礎延長	203.6					203.55	m	
管布設工	路線延長	213.20					213.20	m	
	管体延長	203.55					203.55	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ 200 mm×4.00m	43.0					43	本	
	プレーンエンド直管 φ 200 mm×4.00m	8.0					8	本	
	可とう継手 φ 200 mm	17.0					17	個	
	自在継手 φ 200 mm	5.0					5	個	
	副管用マンホール継手 φ 200 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ 200 mm×0.50m							個	
	内副管用T字継手 φ 200 mm×1.00m							個	

塩ビ管管布設工(No.1)

矢板施工

(17)工区 (補)・単

管 径 φ = 200 mm

現 況 表 層 厚 = 0.05 m

現 況 路 盤 厚 = 0.10 m (上下路盤)

道 路 幅 員 = _____ m

復 旧 表 層 厚 = 0.05 m

掘 削 幅 = 0.95 m

復 旧 路 盤 厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。				管延長 m	ゴ 片 ム 受 プ 輪 け レ 受 直 け 管 口 受 (SRA) (PE)	マン 可 ン と う 継 手	自 在 継 手	備 考 (平均掘削幅)		
					掘 削 土 量										
					人 力 m ³	BH 0.13m ³ m ³	BH 0.28m ³ m ³	BH 0.45m ³ m ³							
2684	2688-2 2684	28.00	0.45 0.45	1.72 1.77			45.8		27.10	24.0	3.10	2		0.95	
2682	2684 2682-1	13.00	0.45 0.29	1.90 1.95			23.5		12.26	12.0	0.26	1		0.95	
	2682-1 2682-2	12.50	0.18 0.38	1.90 1.95			22.6		11.94	8.0	3.81	1	1	0.95	
2681	2682-2 2681-1	16.00	0.38 0.29	1.88 1.93			28.6	15.33	12.0	3.33	1			0.95	
	2681-1 2681-2	7.00	0.18 0.38	1.84 1.89			12.2	6.44	4.0	2.31	1	1		0.95	
	2681-2 2681-3	7.00	0.38 0.29	1.78 1.83			11.8	6.33	4.0	2.33	1			0.95	
	2681-3 2681-4	7.00	0.18 0.38	1.77 1.82			11.8	6.44	4.0	2.31	1	1		0.95	
	2681-4 2681-5	24.50	0.38 0.38	1.73 1.78			40.3	23.74	20.0	3.74	2			0.95	
2679	2681-5 2679-1	4.00	0.38 0.29	1.57 1.62			6.0	3.33		3.33	1			0.95	
	2679-1 2679-2	3.00	0.20 0.38	1.61 1.66			4.6	2.42		2.29	1	1		0.95	
	2679-2 2679-3	33.00	0.38 0.38	1.69 1.74			53.0	32.24	32.0	0.24	2			0.95	
2677	2679-3 2677-1	25.50	0.38 0.29	1.54 1.59			37.3	24.83	24.0	0.83	1			0.95	
	2677-1 2677-2	25.00	0.20 0.45	1.80 1.85			42.8	24.35	24.0	0.22	1	1		0.95	
2675	2677-2 2675	7.70	0.45 0.45	1.96 2.01			14.3	6.80	4.0	2.80	1			0.95	
計		213.20					91.9	262.7	203.55	172.0	30.90	17		5	
本 管	プレ ー ン エ ン ド 直 管 30.9 ÷ 4.00 m/本 = 8 本 ゴ ム 輪 受 け 口 片 受 直 管 172.0 ÷ 4.00 m/本 = 43 本														
土 工	掘 削	人力掘削工	人 力		m ³		合計	発生土埋戻	砂埋戻	13.5	残土	24.9			
		機械掘削工	バックホウ	0.13 m ³	m ³										
		機械掘削工	バックホウ	0.28 m ³	m ³	91.9									
		機械掘削工	バックホウ	0.45 m ³	m ³	262.7									
			354.6		354.6		354.6		57.7		34.4		63.7		
	埋 戻	発生土		V= 354.6 - (0.416 × 0.95 + 0.20 × 0.95) × 213.20 =		m ³	229.8			平均掘削深					
砂埋戻		V= { (0.316 × 0.95) 0.785 × 0.216 } × 203.55 =		m ³	53.7	砂埋戻		砂埋戻							
砂基礎工		V= 0.95 × 0.10 × 203.55		m ³	19.3	砂基礎工		砂基礎工							
残土		V= 354.6 - (229.8 ÷ 0.9) =		m ³	99.3	管廻り埋戻高 = 0.316		管 外 径 = 0.216		砂埋戻高 = 0.416		砂基礎高 = 0.10			

土留工集計表

(17) 工区 補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
	建込簡易土留工 H=2.00m							m	
	建込簡易土留工 H=2.50m							m	
	建込簡易土留工 H=3.00m							m	
	建込簡易土留工 H=3.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(1段) H=2.00m	118.0					118.0	m	
	軽量鋼矢板建込工(1段) H=2.50m	95.2					95.2	m	
	軽量鋼矢板建込工(2段) H=2.50m							m	
	軽量鋼矢板建込工(2段) H=3.00m							m	

塩ビ管管布設土留工(No.1)

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	掘削深	素掘	建込簡易土留工				軽量鋼矢板建込工			
					m	m	m	m	m	m	m	m
					L-2.00	L-2.50	L-3.00	L-3.50	L-2.00	L-2.50	L-2.50	L-3.00
									1段	1段	2段	2段
				m	m	m	m	m	m	m	m	
2684	2688-2 2684	28.00	1.77						28.00			
2682	2684 2682-1	13.00	1.95							13.00		
	2682-1 2682-2	12.50	1.95							12.50		
2681	2682-2 2681-1	16.00	1.93							16.00		
	2681-1 2681-2	7.00	1.89							7.00		
	2681-2 2681-3	7.00	1.83							7.00		
	2681-3 2681-4	7.00	1.82							7.00		
	2681-4 2681-5	24.50	1.78					24.50				
2679	2681-5 2679-1	4.00	1.62					4.00				
	2679-1 2679-2	3.00	1.66					3.00				
	2679-2 2679-3	33.00	1.74					33.00				
2677	2679-3 2677-1	25.50	1.59					25.50				
	2677-1 2677-2	25.00	1.85						25.00			
2675	2677-2 2675	7.70	2.01						7.70			
計									118.00	95.20		
建込簡易土留工					H=2.0m2							
建込簡易土留工					H=2.5m2							
建込簡易土留工					H=3.0m2							
建込簡易土留工					H=3.5m2							
軽量鋼矢板建込工					H=2.0m2				118.00			
軽量鋼矢板建込工					H=2.5m2				95.20			
軽量鋼矢板建込工					H=2.5m2							
軽量鋼矢板建込工					H=3.0m2							

1号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No. 1	No. 2	No. 3		数量	単位	摘要
躯体材料	人孔鉄蓋	T-14 (転落防止)						組	
	人孔鉄蓋	T-14 (一般)	3				3	組	
	マンホール蓋固定工	調整高	0.06				0.06	m	
	調整リング	600×200	1				1		
	調整リング	600×150	1				1	個	
	調整リング	600×100	1				1	個	
	調整リング	600×50						個	
	斜壁	600/900 ×600						個	
	斜壁	600/900 ×450						個	
	斜壁	600/900 ×300	3				3	個	
	直壁	900×1500						個	
	直壁	900×1200						個	
	直壁	900×900						個	
	直壁	900×600						個	
	直壁	900×300						個	
	く体ブロック	900×1800						個	
	く体ブロック	900×1500	3				3	個	
	く体ブロック	900×1200						個	
	く体ブロック	900×900						個	
	く体ブロック	900×600						個	
底版		3				3	個		
	ブロック据付工	2.0m以下	3				3	箇所	
	ブロック据付工	3.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
	削孔工	φ200	5				5	箇所	
	削孔工	φ150						箇所	
	底部工		2				2	箇所	
	副管工	1m未満	1				1	箇所	
		1.0m～1.5m						箇所	
		1.5m～2.0m						箇所	

組立 1 号マンホール設置工 No.1

(17)工区 (補)単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管				副管		鉄蓋		受枠変形防止金具	調整高	調整リング				斜壁ブロック			床版斜壁	直壁ブロック						躯体ブロック					底版	
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高	削孔	管径	段差	一般	転落防止			600				φ600 / φ900				φ900						φ900						
																50	100	150	200	300	450	600		150	300	600	900	1200	1500	1800	600	900	1200	1500		1800
																個	個	個	個	個	個	個		個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個		個
2684	2684	1.894	VU	200	9.206	VU	200	9.226	1			1		0.004			1	1															1	1		
2677	2677-2	1.883	VU	200	10.517	VU	200	10.641	1			1		0.043	1		1														1	1				
2675	2675	1.950	VU	200	10.560	VU	200	10.580	1	150	0.640	1		0.010			1	1												1	1					
計																																				
ブロック据付		2.0m以下		3 箇所		副管工		1m未満		半割管		m		1箇所当り		インパードコンクリート						0.18		m ³												
		2.0~3.0m以下		箇所				1.0m~1.5m								モルタル上塗り						0.84		m ²												
		3.0~4.0m以下		箇所				1.5m~2.0m								砕石基礎						0.95		m ²												

三原市

0号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No. 1	No. 2	No. 3		数量	単位	摘要
躯体材料	人孔鉄蓋	T-14 (転落防止)						組	
	人孔鉄蓋	T-14 (一般)	6				6	組	
	マンホール蓋固定工	調整高	0.21				0.21	m	
	調整リング	600×200	1				1		
	調整リング	600×150	2				2	個	
	調整リング	600×100	3				3	個	
	調整リング	600×50						個	
	斜壁	600/750 ×600						個	
	斜壁	600/750 ×450	3				3	個	
	斜壁	600/750 ×300	3				3	個	
	直壁	750×1500						個	
	直壁	750×1200						個	
	直壁	750×900						個	
	直壁	750×600						個	
	直壁	750×300						個	
	く体ブロック	750×1800						個	
	く体ブロック	750×1500	1				1	個	
	く体ブロック	750×1200	5				5	個	
	く体ブロック	750×900						個	
	く体ブロック	750×600						個	
底版		6				6	個		
施工	ブロック据付工	2.0m以下	6				6	箇所	
	ブロック据付工	3.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
	削孔工	φ200	9				9	箇所	
	削孔工	φ150						箇所	
	底部工		6				6	箇所	
	底部工(インバートなし)							箇所	
	インバート工							箇所	
半割管	0.83m	2				2	箇所		

組立 0 号 マンホール設置工 No.1

(17 工区) 補・単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管				副管		鉄蓋		受枠変形防止金具	調整高	調整リング				斜壁ブロック			床版斜壁	直壁ブロック						躯体ブロック					底版			
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高	削孔	管径	段差	一般	転落防止			個	H	600				φ600 / φ750			150	φ750						φ750						
																		50	100	150	200	300		450		600	300	600	900	1200	1500	1800	600	900		1200	1500	1800
		mm		m		mm		m		mm		m		組		組		個		個		個		個		個		個		個		個						
2682	2682-2	1.867	VU	200	9.303	VU	200	9.323	1			1		1	0.027			1			1											1		1				
2681	2681-2	1.778	VU	200	9.392	VU	200	9.432	1			1		1	0.038				1			1									1		1					
2681	2681-4	1.726	VU	200	9.474	VU	200	9.494	1			1		1	0.036			1				1									1		1					
2681	2681-5	1.652	VU	200	9.568	VU	200	9.720	1			1		1	0.012					1											1		1					
2679	2679-2	1.589	VU	200	9.741	VU	200	9.840	1			1		1	0.049			1				1									1		1					
2679	2679-3	1.791	VU	200	9.939	VU	200	10.365	1	半割管	0.426	1		1	0.051					1											1		1					
計																																	6					

ブロック据付	2.0m以下	6 箇所	副管工	1m未満	半割管 0.834 m	1箇所当り	インパートコンクリート	0.12 m ³
	2.0~3.0m以下	箇所		1.0m~1.5m			モルタル上塗り	0.55 m ²
	3.0~4.0m以下	箇所		1.5m~2.0m			砕石基礎	0.70 m ²

三原市

塩ビ製小型マンホール工集計表

(17) 工区 (補) 単

名 称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量
		No.1	No.2	No.3				
跨歩装防護蓋	φ 428 mm T-14	5				5	組	
台座(沈下防止板)	φ 620 mm	5				5	組	
塩ビ製内蓋	φ 300 mm	5				5	個	
ドロップ用	90° 曲管 φ 200 mm						個	
	段差調整管 φ 100 mm × 4.00 m						m	
立 管	ド ロ ッ プ φ 300 mm × 4.00 m						m	
	一 般 φ 300 mm × 4.00 m	6,837				6,837	m	
						2	本	
塩ビ製小型マンホール	KDR φ 300 mm						個	
	DR φ 300 mm						個	
	90° Y φ 300 mm						個	
	90WY φ 300 mm						個	
	WLS φ 300 mm						個	
	45° Y φ 300 mm						個	
	90° φ 300 mm						個	
	60° φ 300 mm						個	
	45° φ 300 mm						個	
	30° φ 300 mm		1			1	個	
	15° φ 300 mm		1			1	個	
	ST φ 300 mm		3			3	個	
	KT φ 300 mm						個	
	異径ソケット φ 200 × φ 150						個	
削 孔	VU 100 mm						箇所	
	VU 150 mm						箇所	
	VU 200 mm						箇所	

塩ビ製小型マンホール設置工 No.1

(17)工区 補・単

路線名	人孔番号	人孔深	流出管			流入管			異径 ツケト	防護蓋	台座	内蓋	DR用φ200		立管φ300		塩ビ製小型マンホール																							
			管種	管径	管底高	管種	管径	管底高					調整管	90°曲管	一般	DR用	φ - 300																							
																	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個							
2682	2682-1	1.815	VU	200	9.265	VU	200	9.265							1.410																									
2681	2681-1	1.799	VU	200	9.371	VU	200	9.371							1.394																									
2681	2681-3	1.707	VU	200	9.453	VU	200	9.453							1.302																									
2679	2679-1	1.528	VU	200	9.732	VU	200	9.732							1.528																									
2677	2677-1	1.608	VU	200	10.442	VU	200	10.442							1.203																									
計							削孔	VU100 VU150 VU200		200×150					5	5	5			6.837																				

取付管工集計表

(17)工区 (補)・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
取付管工	取付管箇所	21					21	箇所	
	取付管延長	59.50					59.50	m	
	平均取付管延長						2.83	m	
	ブレーンエンド直管 φ150×4.00m	49.42					49.42	m	
							13	本	
	90° 可とう支管 φ150	21					21	個	
	60° 曲管 φ150 mm	21					21	個	
	30° 曲管 φ150 mm							個	
	SRB片受直管 φ150×0.80m	21					21	個	
	塩ビ製人孔用支管 φ150×300mm							個	
	可とうマンホール継手 φ150							個	
	自在管φ150	21					21	個	
	本管接続	21					21	箇所	
	マンホール接続							箇所	
	塩ビ製マンホール接続							箇所	
土 工	人力掘削							m ³	
	機械掘削 BH 0.28 m ³	35.5					35.5	m ³	
	発生土埋戻し 人力							m ³	
	" BH 0.28 m ³	28.4					28.4	m ³	
	砂埋戻し・砂基礎 人力							m ³	
	" BH 0.28 m ³	6.2					6.2	m ³	
	残土処分 BH 0.28 m ³ 4t車	3.9					3.9	m ³	
ます設置工	塩ビ製柵 φ 200 mm 1.5 m以下	21					21	箇所	
	铸铁製防護蓋 φ 200 mm用	10					10	箇所	
	塩ビ製密閉蓋 φ 200 mm用	11					11	箇所	

取付管工

(17) 工区 (補) 単

(現況舗装構成)

舗装表層 = 0.05 m
 上層路盤 = 0.10 m
 下層路盤 = m

道路幅員 = ~ m
 本管掘削幅 = m
 取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)

舗装表層厚 = 0.05 m
 上層路盤厚 = 0.10 m
 下層路盤厚 = 0.10 m
 φ 150 mm

路線名	数量	取付管延長	本管土被	a	b	掘削延長	掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管	曲管	PE直管	S	R	B	柵設置工	鋳鉄製防護蓋	塩ビ製密閉蓋	
				掘削深	掘削幅																掘削延長
管所	管所	管所×延長	小計	m	m	m	m	m	m	管所	管所	管所	個	個	個	m	個	管所	管所	管所	
2684	右	1	2× 3.50	7.00	1.47	1.14	0.66	7.00- (0.48 ×2)=	6.04	4.3	2			2	2	6.04	2	2	1	1	
	左	1	1× 1.70	1.70	1.47	1.14	0.66	1.70- (0.48 ×1)=	1.22	0.9	1			1	1	1.22	1	1		1	
2682	右	1	1× 3.70	3.70	1.65	1.23	0.67	3.70- (0.48 ×1)=	3.22	2.5	1			1	1	3.22	1	1		1	
	左	1	2× 1.70	3.40	1.65	1.23	0.67	3.40- (0.48 ×2)=	2.44	1.9	2			2	2	2.44	2	2	1	1	
2681	右	2	4× 3.80	15.20	1.55	1.18	0.66	5.20- (0.48 ×4)=	13.28	9.9	4			4	4	13.28	4	4	2	2	
	左	3	6× 1.50	9.00	1.55	1.18	0.66	9.00- (0.48 ×6)=	6.12	4.6	6			6	6	6.12	6	6	3	3	
2679	右	2	4× 3.70	14.80	1.38	1.09	0.65	4.80- (0.48 ×4)=	12.88	8.7	4			4	4	12.88	4	4	2	2	
	左					1.04															
2677	右																				
	左	1	1× 4.70	4.70	1.29	1.05	0.65	4.70- (0.48 ×1)=	4.22	2.7	1			1	1	4.22	1	1	1	1	
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
	右																				
	左																				
計	11	10		59.50					49.42	35.5	管所 21	管所	管所	ケ 21	ケ 21	ケ 49.42	ケ 21	管所 21	管所 10	11	
配管延長						m		59.50												m	
																				ブレーンエンド直管	
																				49.42	
掘削	人力					m ³		発生土埋戻												m ³	
	BH0.28m ³					35.5		砂・砂基礎埋戻												28.4	
																				m ³	
																				(0.575×0.25-0.15 ² ×0.785)×49.42	
																				6.2	
残土																				個	
																				21	
																				自在管 φ150	
																				m ³	
																				3.9	

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

(17)工区 (補)単

現況表層厚 = 0.05m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05m
 現況路盤厚 = 0.10m 掘削幅 = 0.95m 復旧路盤厚 = 0.20m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
				t= 5 cm	m	t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2684	2688-2 2684	28.00	1.72	28.00×2=	56.00	0.95×28.00=	26.6	2.95×28.00=	82.6
2682	2684 2682-1	13.00	1.90	13.00×2=	26.00	0.95×13.00=	12.35	2.95×13.00=	38.4
	2682-1 2682-2	12.50	1.90	12.50×2=	25.00	0.95×12.50=	11.88	2.95×12.50=	36.9
2681	2682-2 2681-1	16.00	1.88	16.00×2=	32.00	0.95×16.00=	15.2	3.00×16.00=	48.0
	2681-1 2681-2	7.00	1.84	7.00×2=	14.00	0.95×7.00=	6.65	3.00×7.00=	21.0
	2681-2 2681-3	7.00	1.78	7.00×2=	14.00	0.95×7.00=	6.65	3.18×7.00=	22.3
	2681-3 2681-4	7.00	1.77	7.00×2=	14.00	0.95×7.00=	6.65	3.35×7.00=	23.5
	2681-4 2681-5	24.50	1.73	24.50×2=	49.00	0.95×24.50=	23.28	3.35×24.50=	82.1
2679	2681-5 2679-1	4.00	1.57	4.00×2=	8.00	0.95×4.00=	3.80	3.35×4.00=	13.4
	2679-1 2679-2	3.00	1.61	3.00×2=	6.00	0.95×3.00=	2.85	3.35×3.00=	10.1
	2679-2 2679-3	33.00	1.69	33.00×2=	66.00	0.95×33.00=	31.35	3.68×33.00=	121.4
2677	2679-3 2677-1	25.50	1.54	25.50×2=	51.00	0.95×25.50=	24.23	4.00×25.50=	102.0
	2677-1 2677-2	25.00	1.80	25.00×2=	50.00	0.95×25.00=	23.75	4.00×25.00=	100.0
2675	2677-2 2675	7.70	1.96	7.70×2=	15.40	0.95×7.70=	7.32	4.00×7.70=	30.8
	計	213.20			426.40		202.56		732.3

アスファルト切断工	426.40 m
舗装撤去工	732.3 m ²
舗装殻処分工 t= 5 cm=	732.31 × 0.05 = 36.6 m ³
仮舗装工	202.56 m ²
仮舗装撤去	202.56 m ²
仮舗装殻処分工 t= 3 cm=	202.56 × 0.03 = 6.1 m ³
舗装復旧工	732.3 m ²
上層路盤工 t= 12 cm 粒調碎石	202.6 m ²
下層路盤工 t= 10 cm 再生切込碎石	202.6 m ²
不陸修正	732.3 = 732.3 m ²

取付管布設付帯工集計表

(17)工区 (補)・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書				合計	単位	設計数量	
		No. 1							
付 帯 工	舗装切断工(As) t≤20cm	57.05				57.05	m		
	舗装切断工(Co) t≤20cm						m		
	舗装版破碎工(As) t=10cm以下(現況)						m ²		
	〃 t=10cm以下(仮舗)	21.96				21.96	m ²		
	舗装版破碎工(Co) t=7cm以下(現況)						m ²		
	殻運搬処理(As) (現況)	0.7				0.70	m ³		
	〃 (仮舗)	0.7				0.70	m ³		
	殻運搬処理(Co) (現況)						m ³		
	表層工(本舗装) 再生密粒度アスコン t= 5 cm						m ²		
	表層工(仮舗装) 再生粗粒度アスコン t= 3 cm	21.96				21.96	m ²		
	表層工(本舗装) セメントコンクリート t= 7 cm						m ²		
	下層路盤工(車道) 再生切込砕石 t= 10 cm	21.96				21.96	m ²		
	上層路盤工(車道) 粒調砕石 t= 12 cm	21.96				21.96	m ²		
	路盤工(車道) 再生切込砕石 t= 14 cm						m ²		

取付管布設付帯工

(17工区(補)単

現況表層厚 = 0.05 m 道路幅員 = \square m 復旧表層厚 = 0.05 m
 現況路盤厚 = 0.10 m 掘削幅 = \square m 復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	舗装延長 (m)	本管掘削幅 (m)	掘削深 (m)	取付箇所	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
						t= 5 cm	m	t= 20 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2684		3.50	0.95	1.09	2	$(3.50-1.48) \times 2 \times 2 =$	8.10	$0.77 \times 2 \times (3.50-1.48) =$	3.12		
		1.70	0.95	1.09	1	$(1.70-1.48) \times 1 \times 2 =$	0.45	$0.77 \times 1 \times (1.70-1.48) =$	0.17		
2682		3.70	0.95	1.18	1	$(3.70-1.48) \times 1 \times 2 =$	4.45	$0.79 \times 1 \times (3.70-1.48) =$	1.76		
		1.70	0.95	1.18	2	$(1.70-1.48) \times 2 \times 2 =$	0.90	$0.79 \times 2 \times (1.70-1.48) =$	0.36		
2681		3.80	0.95	1.13	4	$(3.80-1.48) \times 4 \times 2 =$	18.60	$0.78 \times 4 \times (3.80-1.48) =$	7.25		
		1.50	0.95	1.13	6	$(1.50-1.48) \times 6 \times 2 =$	0.30	$0.78 \times 6 \times (1.50-1.48) =$	0.12		
2679		3.70	0.95	1.04	4	$(3.70-1.48) \times 4 \times 2 =$	17.80	$0.76 \times 4 \times (3.70-1.48) =$	6.76		
2677		4.70	0.95	1.00	1	$(4.70-1.48) \times 1 \times 2 =$	6.45	$0.75 \times 1 \times (4.70-1.48) =$	2.42		
計							57.05		21.96		

(アスファルト)			
アスファルト切断	15 cm		57.05 m
上層路盤工	12 cm	粒調碎石	22 m ²
下層路盤工	10 cm	再生切込碎石	22 m ²
仮舗装工	3 cm		22 m ²
仮舗装撤去			22 m ²
仮舗装処分	工 t= 3 cm=	21.96 ×	0.03 = 0.7 m ³

塩ビ管管布設工集計表

(22)工区 補・(単)

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
管路土工	管路掘削 人力							m ³	
	管路埋戻(発生土) 人力							m ³	
	管路埋戻(砂) 人力							m ³	
	発生土処理 人力 2 t車							m ³	
	管路掘削 BH 0.13 m ³							m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.13 m ³							m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.13 m ³							m ³	
	発生土処理 BH 0.13 m ³ 2 t車							m ³	
	管路掘削 BH 0.28 m ³	5.1	11.3				16.4	m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.28 m ³	2.9	7.5				10.4	m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.28 m ³	0.7	1.4				2.1	m ³	
	発生土処理 BH 0.28 m ³ 4 t車	1.9	3.0				4.9	m ³	
	管路掘削 BH 0.45 m ³							m ³	
	管路埋戻(発生土) BH 0.45 m ³							m ³	
	管路埋戻(砂) BH 0.45 m ³							m ³	
	発生土処理 BH 0.45 m ³ 10 t車							m ³	
管基礎工	砂基礎	0.3	0.5				0.8	m ³	
	砂基礎延長	4.2	5.3				9.46	m	
管布設工	路線延長	5.00	6.50				11.50	m	
	管体延長	4.17	5.29				9.46	m	
	ゴム輪受け口片受直管 φ 200 mm×4.00m							本	
	プレーンエンド直管 φ 200 mm×4.00m	2.0	2				4	本	
	可とう継手 φ 200 mm	2	3				5	個	
	自在継手 φ 200 mm							個	
	副管用マンホール継手 φ 200 mm×1.00m							個	
	上流用マンホール継手 φ 200 mm×0.50m							個	
内副管用T字継手 φ 200 mm×1.00m							個		

塩ビ管管布設工(No.1)

素掘り

(18) 工区 補(単)

管径 φ = 200 mm

現況表層厚 = 0.05 m

現況路盤厚 = 0.10 m (上下路盤)

道路幅員 = m

復旧表層厚 = 0.05 m

掘削幅 = 0.60 m

復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。			管延長 m	ゴム輪受け直管 (SRA) m	ブレンエンド直管 (PE) m	可とう継手 マンホール 個	自在継手 個	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量								
					人力 m ³	BH 0.13m ³ m ³	BH 0.28m ³ m ³						
2680	2681-9	2.00	0.38	1.34 1.39			2.0	1.62		1.62	1		0.73
2674	2675	3.00	0.45	1.38 1.43			3.1	2.55		2.55	1		0.74
計		5.00					5.1	4.17		4.17	2		

本管 プレーンエンド直管 4.17 ÷ 4.00 m/本= 2 本
 ゴム輪受け口片受直管 ÷ 4.00 m/本= 0 本

土	掘削	人力掘削工	人力	m ³	合計	発生土埋戻	砂埋戻	残土
		機械掘削工	バックホウ	0.13 m ³				
工	埋戻	発生土	V= 5.1 - (0.416 × 0.64 + 0.20 × 0.85) × 5.00 =	m ³	2.9	平均掘削深 1.36	砂埋戻基礎工	上幅 0.62 下幅 0.60
		砂埋戻	V= { (0.316 × 0.65) 0.785 × 0.216 ² } × 4.17 =	m ³	0.7		砂埋戻	上幅 0.68 下幅 0.62
		砂基礎工	V= 0.61 × 0.10 × 4.17 =	m ³	0.3			
	残土	V= 5.1 - (2.9 ÷ 0.9) =	m ³	1.9	管廻り埋戻高= 0.316 管外径 = 0.216 砂埋戻高 = 0.416 砂基礎高 = 0.10			

塩ビ管管布設工(No.2)

矢板施工

(22)工区 補単

管 径 φ =	200	mm			
現況表層厚 =	0.05	m	道路幅員 =		m
現況路盤厚 =	0.10	m	(上下路盤) 掘削幅 =	0.95	m
			復旧表層厚 =	0.05	m
			復旧路盤厚 =	0.20	m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。				管延長 m	ゴム輪受け直管 (SRA) m	ブレンエンド直管 (PE) m	可とう継手 マンホール 個	自在継手 個	備考 (平均掘削幅)
					掘削土量									
					人 力 m ³	BH 0.13m ³ m ³	BH 0.28m ³ m ³	BH 0.45m ³ m ³						
2678	2679-3	3.00	0.38	1.83 1.88			5.2	2.62		2.62	1		0.95	
2676	2677-2 2676-1	3.50	0.45 0.38	1.84 1.89			6.1	2.67		2.67	2		0.95	
計		6.50					11.3	5.29		5.3	3			

本管 プレンエンド直管 5.29 ÷ 4.00 m/本= 2 本
 ゴム輪受け直管 5.29 ÷ 4.00 m/本= 1.32 本

土 工	掘 削	発生土	発生土	発生土	合計	発生土埋戻	砂埋戻	残土
		人力掘削工	機械掘削工	機械掘削工				
		人力掘削工	バックホウ	バックホウ	バックホウ			
		0.13 m ³	0.28 m ³	0.45 m ³	11.3 m ³	7.5 m ³	1.4 m ³	3.0 m ³
		0.416 m ³	0.20 m ³	0.216 m ³	0.785 m ³	0.5 m ³	0.95 m ³	0.95 m ³
		0.95 m ³	0.10 m ³	5.29 m ³	7.5 m ³	1 m ³	0.95 m ³	0.95 m ³
		11.3 m ³	7.5 m ³	0.9 m ³	3 m ³	0.316 m ³	0.416 m ³	0.10 m ³

0号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No. 1	No. 2	No. 3		数量	単位	摘要
躯体材料	人孔鉄蓋	T-14 (転落防止)						組	
	人孔鉄蓋	T-14 (一般)	1				1	組	
	マンホール蓋固定工	調整高	0.02				0.02	m	
	調整リング	600×200	1				1		
	調整リング	600×150						個	
	調整リング	600×100						個	
	調整リング	600×50						個	
	斜壁	600/750 ×600						個	
	斜壁	600/750 ×450	1				1	個	
	斜壁	600/750 ×300						個	
	直壁	750×1500						個	
	直壁	750×1200						個	
	直壁	750×900						個	
	直壁	750×600						個	
	直壁	750×300						個	
	く体ブロック	750×1800						個	
	く体ブロック	750×1500						個	
	く体ブロック	750×1200	1				1	個	
	く体ブロック	750×900						個	
	く体ブロック	750×600						個	
底版		1				1	個		
施工	ブロック据付工	2.0m以下	1				1	箇所	
	ブロック据付工	3.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
	削孔工	φ200						箇所	
	削孔工	φ150						箇所	
	底部工		1				1	箇所	
	底部工(インバートなし)							箇所	
	インバート工							箇所	
	半割管							箇所	

付 帯 工 集 計 表

(22)工区 補・単

名 称	形状・寸法	数量内訳書					合計	単位	設計数量
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4				
アスファルト切断工	t=15cmまで	10.0	13.0				23.0	m	
舗装撤去工									
舗装殻処分工									
仮舗装工	As t=3cm	4.4	6.2				10.6	m ²	
仮舗装撤去		4.4	6.2				10.6	m ²	
仮舗装殻処分工		0.1	0.2				0.3	m ³	
本舗装復旧工(全面幅)	密粒度As t=5cm								
上層路盤工	粒調碎石 t=12cm	4.4	6.2				10.6	m ²	
下層路盤工	再生切込碎石 t=10cm	4.4	6.2				10.6	m ²	
不陸修正									

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

(18)工区 補・単

現況表層厚 = 0.05 m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05 m
 現況路盤厚 = 0.10 m 掘削幅 = m 復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
				t= 5 cm	m	t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
2680	2681-5	2.00	1.34	2.00×2=	4.00	0.87×2.00=	1.74		
2674	2675	3.00	1.38	3.00×2=	6.00	0.88×3.00=	2.64		
	計	5.00			10.00		4.38		

アスファルト切断工	10.00 m
舗装撤去工	m ²
舗装殻処分工 t= 5 cm= × 0.05 =	m ³
仮舗装工	4.38 m ²
仮舗装撤去	4.38 m ²
仮舗装殻処分工 t= 3 cm= 4.38 × 0.03 =	0.1 m ³
舗装復旧工	m ²
上層路盤工 t= 12 cm 粒調碎石	4.4 m ²
下層路盤工 t= 10 cm 再生切込碎石	4.4 m ²
不陸整正	= m ²

塩ビ管管布設付帯工(No.2)

(22)工区 補単

現況表層厚 = 0.05 m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05 m
 現況路盤厚 = 0.10 m 掘削幅 = 0.95 m 復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工		
				t= 5 cm	m	t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²	
2678	2679-3	3.00	1.83	3.00×2=	6.00	0.95×3.00=	2.85			
2676	2677-2 2676-1	3.50	1.84	3.50×2=	7.00	0.95×3.50=	3.33			
	計	6.50			13.00		6.18			
アスファルト切断工				13.00 m						
舗装撤去工				m ²						
舗装殻処分工				t= 5 cm=		×		0.05 =		m ³
仮舗装工				6.18 m ²						
仮舗装撤去				6.18 m ²						
仮舗装殻処分工				t= 3 cm=		6.18 ×		0.03 =		0.2 m ³
舗装復旧工				m ²						
上層路盤工				t= 12 cm		粒調碎石		6.2 m ²		
下層路盤工				t= 10 cm		再生切込碎石		6.2 m ²		
不陸修正				— = m ²						



令和2年度 公共下水道事業		
工事名	三原東処理分区 污水管新設工事(2-1工区)	
工事場所	三原市中之町二丁目	
図面番号	縮尺	1/10,000
位置図		
三原市		